

五所川原工科高等学校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-05	矩計図-1	E-01	電気設備特記仕様書（1）	M-01	機械設備 特記仕様書 1
A-特01	改修特記仕様書（その1）	A-06	矩計図-2	E-02	電気設備特記仕様書（2）	M-02	機械設備 特記仕様書 2
A-特02	改修特記仕様書（その2）	A-07	1階建具伏図（現況図）	E-03	配置図・案内図	M-03	配置図
A-特03	改修特記仕様書（その3）	A-08	2階建具伏図（現況図）	E-04	管理棟 1階電気設備図	M-04	空調設備 機器表
A-特04	改修特記仕様書（その4）	A-09	建具表-1（現況図）	E-05	普通教室棟 1階電気設備図	M-05	空調設備 平面図
A-特05	改修特記仕様書（その5）	A-10	建具表-2（現況図）	E-06	第一体育館 1階電気設備図	M-06	空調設備 平面詳細図
A-特06	改修特記仕様書（その6）	A-11	土間スラブ改修詳細図	E-07	電灯動力配電盤、単線結線図、GHPメイン機2次側回路系統図	M-07	自動制御設備 計装図
A-特07	改修特記仕様書（その7）	A-12	床下基礎配置図	E-08	受変電設備図	M-08	自動制御設備 平面図
A-特08	改修特記仕様書（その8）	A-13	コートライン配置図				
A-特09	改修特記仕様書（その9）	A-14	鋼製床伏図（撤去図）				
A-特10	改修特記仕様書（その10）	A-15	収納台車詳細図（撤去図）				
A-特11	改修特記仕様書（その11）	A-16	雑詳細図				
A-特12	改修特記仕様書（その12）	A-17	外構詳細図				
A-01	案内図・配置図						
A-02	仕上表						
A-03	平面図						
A-04	立面図（現況図）						

株式会社 川島隆太郎建築事務所

[illegible]

2

仮設工事

騒音・粉じん等の対策

足場等

防音パネル

防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

図示による

「手すり先行工法等に関するガイドライン」について
(厚生労働省 令和5年12月26日)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

設置する
(設置範囲)

工事に必要な範囲

図示による

設置しない

防護シート

設置する
(設置範囲)

工事に必要な範囲

図示による

設置しない

内部足場

設置する
(※脚立、足場板等)

設置しない

材料、撤去材等の運搬方法

種類(・A種・B種・C種・D種・E種)

C種: 利用可能なエレベーター
(・図示による)

D種: 利用可能な階段
(・図示による)

既存部分の養生

養生方法等

2.3.1

既存部分

養生方法(※ビニルシート、合板)

既存家具、既存設備等

養生方法(※ビニルシート等)

既存ブラインド、カーテン等

養生方法(・ビニルシート等)

保管場所(・図示による)

固定された備品、机、ロッカー等の移動

図示による

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所

2.3.2

図示による

仮設間仕切りの種別と材質等

種別

仕上げ(厚さmm)

塗装

充填材

A種

せっこうボード

種類(・)

厚さ(・mm ※9.5mm)

無し

片面

ガラスウール

厚さ mm

B種

合板

材質(・)

厚さ(・mm ※9mm)

無し

片面

図示による

※C種

防煙シート

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質

仕上げ

塗装

設置箇所

※木製

※合板張り程度

無し

か所

片面

図示による

3

防水改修工事

施工数量調査

調査範囲

1.6.2、3

図示による

調査方法

図示による

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

図示による

調査報告書(提出部数・2部)

降雨等に対する養生方法(とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による

既存防水の処理

既存保護層の撤去

3.1.4

3.2.3、4、6

行う(範囲・図示による)

行わない

既存防水層の撤去

行う(範囲・図示による)

行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

行う(・M4AS・M4ASI・M4C・M4DI・L4X)

行わない

既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等

3.2.6

図示による

POS工法及びPPOS工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①~③による

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※監督職員と協議する

図示による

アスファルト防水

3.3.2~5

新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種別

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

絶縁用シート

P2A

A-1

A-2

A-3

P1B

B-1

B-2

P2AI

AI-1

AI-2

AI-3

P1BI

BI-1

BI-2

種類

※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スラン層付き)

(厚さ)(mm)

※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤンクロス70g/㎡程度

※フラットヤンクロス70g/㎡程度

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3~表3.3.6による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

※水下

80mm以上

床タイル張り

※水下

60mm以上

立上り部の保護方法

乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)

窯業系パネルI類(厚さ(mm)幅(mm))

れんが押え(※JIS R 1250)

コンクリート押え

モルタル押え(屋内)

新設防水層(屋根露出工法)の種別

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

種類

使用量

高日射反射率防水

備考

M4C

C-1

C-2

C-3

C-4

アスファルトルーフィング類の製造所の仕様

アスファルトルーフィング類の製造所の仕様

適用する

M3D

D-1

POD

D-2

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

PODI

DI-1

M3DI

DI-2

M4DI

改修標準仕様書3.3.2(9)(種類)

(厚さ)(mm)

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.7~表3.3.9による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(個)

屋内防水

防水層の種別

改修工法

種別

施工箇所

PIE

E-1

P2E

E-2

保護層

設ける(※図示による)

設けない

E-1の工程3を行う部位

※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

図示による

改質アスファルトシート防水

新設防水層(屋根露出防水)の種別

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

種類

使用量

高日射反射率防水

備考

M4AS

AS-T1

AS-T2

AS-J2

改質アスファルトシート類の製造所の仕様

改質アスファルトシート類の製造所の仕様

適用する

M3AS

AS-T3

AS-T4

AS-J1

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

POAS

AS-T3

AS-T4

AS-J1

AS-J3

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

M3ASI

ASI-T1

M4ASI

POASI

改修標準仕様書3.4.2(3)(9)(種類)

(厚さ)(mm)

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

防湿層

設ける

設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※改質アスファルトシート類の製造所の指定

設置数量

※改質アスファルトシート類の製造所の指定

(個)

絶縁断熱工法の防湿用シート

設置する

設置しない

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正

青森県

(工事名) 五所川原工科大学高等学校第一体育館 避難所機能強化(空調設備整備)改修工事

改修特記仕様書(その2)

A-特02

※

※

3

防水改修工事

・合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種類

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率防水

備考

種類

使用量

適用する

脱気装置

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・P0S

・S-F1

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・S4S

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・S-F2

・適用する

脱気装置

・S-M1

・適用する

脱気装置

・S-M2

・適用する

脱気装置

・S3S

・S-F1

・プレキャストコンクリート下地

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・S-F2

・プレキャストコンクリート下地

・適用する

脱気装置

・M4S

・S-M1

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・S-M2

・適用する

脱気装置

・P0S1

・SI-F1

・プレキャストコンクリート下地

改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(b)(種類)

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・P3S1

・SI-F2

・プレキャストコンクリート下地

・(厚さ)(mm)

・25

・50

・適用する

脱気装置

・P4S1

・SI-M1

改修標準仕様書3.5.2(3)(イ)(a)(種類)

・ルーフイングシートの製造所の仕様

※ルーフイングシートの製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・M4S1

・SI-M2

・(厚さ)(mm)

・25

・50

・適用する

脱気装置

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

※非歩行仕様

・軽歩行仕様

S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム

・設置する

・設置しない

屋内防水

防水層の種類

改修工法

新設種別

施工箇所

保護層

種類

使用量

適用する

脱気装置

・P1S

・S-G1

・平場の保護モルタル塗厚

※7mm以下

・適用する

脱気装置

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類

目地割

※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度

・目地の種類

※押し目地

・合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.5.1から表3.5.3による

・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

種類

厚さ

mm以上

絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質

※発泡ポリエチレンシート

・固定金具の材質、形状及び寸法

※厚さ0.4mm以上の防錆処理した銅板、ステンレス銅板

又はそれらの銅板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

・接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・設置数量

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・()個

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理

・行う (・図示による)

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種類S-F1、SI-F1の場合)

・行う (・図示による)

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

1章 適用区分による風圧力の

(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

新設防水層 (ウレタンゴム系塗膜防水) の種類

[3.6.2、3]

改修工法

新設種別

施工箇所

仕上塗料

高日射反射率防水

備考

種類

使用量

適用する

脱気装置

・P0X

※X-1

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・X-2

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・X-1H

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・X-2H

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・L4X

・X-1

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

※X-2

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・X-1H

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

・X-2H

・主材料の製造所の仕様

※主材料の製造所の仕様

・適用する

脱気装置

ウレタンゴム系塗膜防水工法X-1の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※主材料の製造所の仕様

・設置数量

※主材料の製造所の仕様

・(個)

・シーリング

・シーリング改修工法の種類

[3.1.4] [3.7.2、3、7、8]

・シーリング充填工法

・シーリング再充填工法

・拡幅シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

ボンドブレーカー張り

・適用する

・適用しない

エッジング材張り

・適用する

・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書/表3.7.1による。

施工箇所

シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所

・図示による

シーリング材の目地寸法

※改修標準仕様書3.7.3(1)による

・図示による

接着性試験

※簡易接着性試験

・引張接着性試験

・とい

・といその他の材種

[3.8.2、3]

・配管用鋼管

・硬質ポリ塩化ビニル管

・ルーフトレン

・表面処理鋼板

・とい受金物

材種

※改修標準仕様書3.8.2による

(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

・形状

※市販品 (とい径100以下)

※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの)

・取付け間隔

※改修標準仕様書3.8.2による

・足金物

材種

※改修標準仕様書3.8.2による

(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

・形状

※市販品

・取付け間隔

※改修標準仕様書3.8.2による

・多雪地域

・適用する

・適用しない

新設防水層 (ゴムアスファルト系塗膜防水) の種類

改修工法

新設種別

施工箇所

工程数及び各工程の使用量

保護層

種類

使用量

適用する

脱気装置

・P1Y

※Y-2

※主材料の製造所の仕様による

・保護モルタル

・保護コンクリート

厚さ (mm)

・P2Y

※Y-2

※主材料の製造所の仕様による

・保護モルタル

・保護コンクリート

厚さ (mm)

アルミニウム製笠木

種類

[3.9.2、3]

・押出型材形

(・押出250形

・押出300形

・押出350形)

・板材折曲げ形 (・オープン形式

・シール形式)

本体幅 (mm)

板厚 (※2.0mm

mm)

表面処理

種別 (種

色合等

・標準色 (

・特注色 (

既存笠木等の撤去

・行う (範囲

・図示による

・行わない

下地補修の工法

※図示による

板材折曲げ形の笠木の取付方法

※図示による

笠木の固定金具の工法等

1章 適用区分による風圧力の

(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

NOTE

(工事名) 五所川原工科高等学校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事

改修特記仕様書 (その3)

A-特03

※

※

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正

青森県

5

建具改修工事

・改修工法

[5. 1. 3] [5. 1. 6]

既存建具の種類	かぶせ 王法	撤去 王法	適用箇所
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による
・樹脂製建具		・	・建具表による
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による
	・内部	・	・建具表による
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による
・木製建具		・	・建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。
・再使用（ ・ブラインドボックス ）

・指定する [5. 1. 4]
適用箇所（ ・建具表による ）
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる 適用箇所（ ・建具表による ）
・連動させない

・見本の製作等 [5. 1. 5]
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
・行わない
建具見本製作の目的等：（ ）
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

・防犯建物部品 [5. 1. 7]
・適用する（ ・建具表による ）
・適用しない

・アルミニウム製建具 [5. 2. 2～5][表 5. 2. 2]
性能値等
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
気密性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
水密性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ）
・B種（建具符号 ・建具表による ）
・C種（建具符号 ・建具表による ）
枠の見込み寸法（ ・建具表による ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
断熱ドア・断熱サッシ ☐
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別（改修標準仕様書 表5. 2. 2）
・BB-1種
・BB-2種（着色： ・標準色 ・特注色）
屋内の建具
種別（開封標準仕様書 表5. 2. 2）
・BC-1種
・BC-2種
・BC-2種（着色： ・標準色 ・特注色）
結露水の処理方法
・水貯め式
・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による

・網戸等

[5. 2. 3、5. 3. 3]

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm

性能値等 [5. 2. 2] [5. 3. 2～5]
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級 （ ）
水密性の等級 （ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ）
・B種（建具符号 ・建具表による ）
・C種（建具符号 ・建具表による ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2 ）
（建具符号 ・建具表による ）
断熱ドア・断熱サッシ ☐
断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ）
（建具符号 ・建具表による ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法 ・建具表による
材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による

・樹脂製建具

・鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2～4][表5. 4. 2]
性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
・建具符号 ・建具表による
断熱ドア・断熱サッシ ☐
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
銅板類の厚さ（mm）
※改修標準仕様書 表5. 4. 2Iによる
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による

・鋼製軽量建具

[5. 2. 2] [5. 5. 2～4]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
断熱ドア・断熱サッシ ☐
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号 ・建具表による ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
銅板類の厚さ（mm）
※改修標準仕様書 表5. 5. 1Iによる
・ mm 使用箇所（ ）
・防音性能を求める戸（建具表による）
防音充填材（グラスウール又はロックウール）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による

・ステンレス製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL ・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

・木製建具

[5. 7. 2～4]

建具材の加工、組立時の含水率 [5. 7. 2～4]
※A種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5. 7. 2(2)(4)(a)による
表面材の合板の種類
合板の種類 規格等 備考
・普通合板 ☐ 表面の樹種
・
板面の品質（※広葉樹1等 ・ ）
接着の程度（ ・1類 ・2類 ）
・天然木 樹種名（ ）
化粧合板 ☐ 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）
・特殊加工 化粧加工の方法
化粧合板 ☐ ※プリント
・ポリエステル化粧合板
・メラミン化粧合板
・
接着の程度（ ・1類 ・2類 ）
・MDF ☐ 表裏面の状態による区分（ ）
曲げ強さによる区分（ ）
耐水性による区分（ ）
難燃性による区分（ ）

表面板の厚さ
※改修標準仕様書 表5. 7. 6Iによる
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない
・適用する

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による

・ふすま
張りの種別（ ・ I 型 ・ II 型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリアー塗装）
見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による

・戸ふすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

枠、くつずりの材料
・建具表による

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正 青森県

（工事名） 五所川原工科高等学校第一体育館避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

改修特記仕様書（その6）

A-特06
※
※

6

内装改修工事

改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による
・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による

既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置
※図示による）
・

木下地等の表面仕上げ

見え掛り面の表面仕上げの程度
※ブレンダー加工仕上げ
適用部材（部位）（
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）（
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）（

木材の施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)による
・

製材

・JAS 1083-5 に基づく下地用製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
壁 赤松 ※2級 ※A種・B種
※2級 ※A種・B種
・JAS 1083-2 に基づく造作用製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
見え掛り面 ※上小節 ※A種・B種
見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種・B種
・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
※1等 ※10%以下・A種・B種
※1等 ※10%以下・A種・B種
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理の適用 含水率
（
造作材の場合（※A種・B種） ※A種・B種
（
造作材の場合（※A種・B種） ※A種・B種

造作用集成材

・JAS 1152 に基づく造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面 (面数) 寸法 (mm) 見付け材面の品質
ステージ 框 たも 図示 ※1等・2等
※1等・2等
・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集成材
施工箇所 品名 材種名 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 (面数) 寸法 (mm) 見付け材面の品質
化粧薄板：芯材 ※1等・2等
化粧薄板：芯材 ※1等・2等
・JAS 1152 以外の造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率
※15%以下
※15%以下
・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率
化粧薄板：芯材 ※15%以下
化粧薄板：芯材 ※15%以下
・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理
ステージ 突板 18 無（・1等・2等・3等）
有
天然木化粧加工・塗装加工
適用する（
適用しない
無（・1等・2等・3等）
有（・天然木化粧加工・塗装加工）
適用する（
適用しない
無（
有（・天然木化粧加工・塗装加工）
※14%以下・
適用する（
適用しない
・JAS 0701 以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理
無（
有（・天然木化粧加工・塗装加工）
※14%以下・
適用する（
適用しない

造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理
ステージ 突板 18 無（・1等・2等・3等）
有
天然木化粧加工・塗装加工
適用する（
適用しない
無（・1等・2等・3等）
有（・天然木化粧加工・塗装加工）
適用する（
適用しない
無（
有（・天然木化粧加工・塗装加工）
※14%以下・
適用する（
適用しない

合板等

・JAS 3079 に基づく直交集成板
施工箇所 品名 樹種名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 寸法 (mm)
異等級構成直交集成板
同一等級構成直交集成板
A種構成
B種構成
A
B
C
[6.5.2]
・JAS 0233 に基づく普通合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理
図示 ※5.5・※1類・※2類 広葉樹※2等以上
針葉樹※C-D以上
シナ 適用する（
適用しない
※5.5・※1類・※2類 広葉樹※2等以上
針葉樹※C-D以上
適用する（
適用しない
・JAS 0233 に基づく構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 等級 板面の品質 曲げ強度 (強度等級) 防虫処理 単板の樹種名
図示 ※12・※15・特類 ※1類・※2級以上
※1類・※2級以上
適用する
適用しない
適用する
適用しない
ラワン
※12・※15・特類 ※1類・※2級以上
※1類・※2級以上
適用する
適用しない
屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233 に基づく化粧ばり構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理
特類・※1類 適用する（
適用しない
特類・※1類 適用する（
適用しない
屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233 に基づく天然木化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 化粧板に使用する単板の樹種名 防虫処理
1類・2類 適用する（
適用しない
1類・2類 適用する（
適用しない

接合具等

・JAS 0233 に基づく特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理
1類・2類 F・FW・W・SW オーバーレイ・プリント・塗装
適用する（
適用しない
1類・2類 F・FW・W・SW オーバーレイ・プリント・塗装
適用する（
適用しない
・JIS A 5908 に基づくパーティクルボード
施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 厚さ (mm)
※13タイプ
Mタイプ
※15
P
・
※13タイプ
Mタイプ
※15
P
・
・JAS 0360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法 (mm) 曲げ性能（等級）
（・常態曲げ試験
・湿潤曲げ試験）
1級 2級 3級 4級
1級 2級 3級 4級
・JIS A 5905 に基づくMDF
施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm)
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※改修標準仕様書 表6.5.3に示す程度の市販品
・
座金
※改修標準仕様書 表6.5.4に示す程度の市販品
・
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書 表6.5.5に示す程度の市販品
・
接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
[6.5.3、4]

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正 青森県

NOTE

（工事名）五所川原工科高等学校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事
改修特記仕様書（その8）
A-特08
※
※

6

内装改修工事

・防腐・防蟻
防虫処理等

工場における薬剤の加圧注入等 [6.5.5]

・改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)①による加圧注入保存処理性能区分

K2

K3

K4

K2

K3

K4

・改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)②による加圧式保存処理保存処理の性能（）
インサイジング ・適用する ・適用しない

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による
・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による。
適用部材（部位） ・図示による
処理方法 ※改修標準仕様書 6.5.5(1)(b)②による。

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部材（部位） ・図示による

・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等によるK3防腐・防蟻処理
適用部材（部位） ・図示による

・不燃処理木材等
不燃材料
適用部材（部位） ・図示による
準不燃材料
適用部材（部位） ・図示による
難燃材料
適用部材（部位） ・図示による

○内部間仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名 [6.5.6]
（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材 ・

・窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 [6.5.7]
（製材を用いる場合）
※吊元杢、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

・床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 [6.5.8]
（製材を用いる場合）
※ひのき ・

○壁及び天井地下

壁胴縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

・軽量鉄骨
天井地下

野縁等の種類 [6.6.2～4]
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及び Inserts の間隔
・図示による ・
周辺部の端からの間隔
・図示による ・
野縁の間隔
・図示による ・
既存の埋込み Insert
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの重量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・（ ）N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合（補強方法 ※図示による ・）

○軽量鉄骨壁地下

スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4.(5)による
・

○ビニル床シート

種類

記号

色柄

厚さ(mm)

備考

※FS(複層ビニル床シート)
・無地
・マーブル柄
・柄物

※2.0
・

接合部の処理
熱溶接工法 ・

○ビニル床タイル

種類の記号

色柄

寸法(mm)

厚さ(mm)

備考

※KT(コンポジションビニル床タイル)
・無地
・柄物

※300×300 ※2.0
・450×450 ・2.5
・ 3.0

・TT(単層ビニル床タイル)
・無地
・柄物

・300×300 ・2.0
・450×450 ・

・FT(複層ビニル床タイル)
・無地
・柄物

・300×300 ・2.0
・450×450 ・2.5
・ 3.0

・FOA(置敷きビニル床タイル)
・無地
・柄物

・500×500 ・4.0
・

・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)
・無地
・柄物

・ 厚さ(mm)

特殊機能床材 [6.8.2]

帯電防止床シート [6.8.2]
種類（ ）
性能（ ）
厚さ(mm)（ ）
帯電防止床タイル
種類（ ）
性能（ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）
視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類（ ）
形状（ ）

○耐動荷重性床シート
種類（スポーツ用）
厚さ(mm)（2.0）
防滑性床シート
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）

○接着剤

[6.8.2]
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・図示による ・

○ビニル幅木

[6.8.2]
材質の種類
○軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ○100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・

・ゴム床タイル

[6.8.2]
種類
・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ（ mm）
寸法(mm)（ × ）

・下地の工法

[6.8.3]
改修標準仕様書6.8.3(1)(7)〜(9) 以外の下地の工法
・図示による ・

・カーペット敷き

織り方

パイル形状

備考
(参考価格)

・ウイルトカーペット
・フェイズクフェイスカーペット
・アキスマスターカーペット

カットパイル
ルフパイル
カット/ルフパイル

色柄
※模様のない無地
・
パイル系の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合法
※ヒートボンディング工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット
パイル形状 パイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考
(参考価格)
・カットパイル
・5〜7
・ 全面接着工法
・適用する
・ルフパイル
・4〜6
・ グリップ工法
・適用しない
・カット、ルフ併用
下敷き材(グリップ工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・合成樹脂塗床

[6.10.2、3]
種別 施工箇所 工法 仕上げの種類
・厚膜型塗床材
弾性ウレタン樹脂系塗床
※平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材
エポキシ樹脂系塗床
・薄膜流しのペ工法
・厚膜流しのペ工法
・樹脂モルタル工法
・平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材
塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
[6.11.2～6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・単層フローリング（フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り）
・接着工法
樹種
※なら ・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り）
・接着工法
樹種
※なら ・
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ○適用しない

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正 青森県

改修特記仕様書（その9）

A-特09
※
※

7

塗装改修工事

材料

地下調整

素地ごしらえ

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：）

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・

既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（箇所）
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	
鉄鋼面	※RB種	
亜鉛めっき鋼面	※RB種	
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）	※RB種・RA種	
モルタル面及び せつこうプaster面	※RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、 ALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種・RC種	・行う ・行わない
せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	

[7.3.2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種・A種・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種・A種・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外）	・A種・B種
	（鋼製建具等）	※B種
モルタル面及びせつこうプaster面		※B種・A種
コンクリート面（DP以外）及び ALCパネル面		※B種・A種
押出成形セメント板面及び コンクリート面（DPのみ）		・A種・B種
コンクリート面（DPのみ）		※A種・B種
せつこうボード面及びその他ボード面		※B種・A種

・錆止め塗料塗り

塗装

錆止め塗料塗りの種別

[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP	塗替え	As種 ※C種 ・
錆止め塗装のまま （工程の種別は表7.4.3）	新規見え掛け	As種	※A種 ・
	新規見え隠れ	As種	※B種 ・
EP-G （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※Bs種 ・As種	※C種 ・
	新規見え掛け	※Bs種 ・As種	※A種 ・
	新規見え隠れ	※Bs種 ・As種	※B種 ・
DP （工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2 (1)(4)(b)による	・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
	新規	7.4.2 (1)(4)(a)による	・A種

亜鉛めっき鋼面

9
環境配慮改修工事

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
SOP （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※Az種 ・Bz種	※C種 ・
新規	鋼製建具等	※Az種 ・Bz種	※A種 ・
新規	その他	※Bz種 ・	※B種 ・
EP-G （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	Cz種 ・	※C種 ・
新規	鋼製建具等	Cz種 ・	※A種 ・
新規	その他	Cz種 ・	※B種 ・
DP （工程の種別は表7.4.6）	塗替え	Bz種 ・	
	新規	Bz種 ・	

[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種・A種
塗装の種類 ※1種 ・2種	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り（GL）		※B種 ・A種（着色顔料の種類） ・	※B種 ・A種（着色顔料の種類） ・
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※B種・A種	※B種・A種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面上塗り等級（）級	・	
	亜鉛めっき鋼面上塗り等級（）級	・	
	コンクリート面 押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛めっき面	※B種 ※B種 ※B種 ※A種	※B種・A種 ※A種 ※B種・A種 ※A種・B種
合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）		※B種	※B種・A種
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（EP-T）		※B種	・A種・B種
ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種	※B種・A種
・ピグメントステイン塗り			
・木材保護塗料塗り（WP）		※B種・A種	※B種・A種

NOTE

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、せつこうプaster面、せつこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・

・高日射反射率塗料塗り
下地調整（改修標準仕様書 表7.2.2、3）
※RB種・RA種・RC種

工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m ²)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する
（着色剤：・溶剤系着色剤・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない

・石綿含有建材の除去工事

・石綿含有建材の濃度測定
測定時期、場所及び測定点

[9.1.1、3～6]

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点
・測定2		調査対象室外部の付近	・計	点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点
・測定4		セキュリティゾーン入口	・計	点
・測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計	点
・測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計	点
・測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計	点
・測定8	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・計	点
・測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	・計	点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定5	

測定名称

メンブレンフィルタ直径
(mm)

試料の吸引流量
(L/min)

試料の吸引時間
(min)

・測定4
・測定5
・測定
・測定
・測定

25
25
47

5
10
10

30
120
240

・JIS K 3850-1に基づいた測定

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
・
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
・
除去工法
※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲
・図示による
・
隔離養生（負担不要）方法
・図示による
・
足場
・図示による
・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。）
除去対象範囲
・図示による
・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せつこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

（工事名）

改修特記仕様書（その11）

五所川原工科大学第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

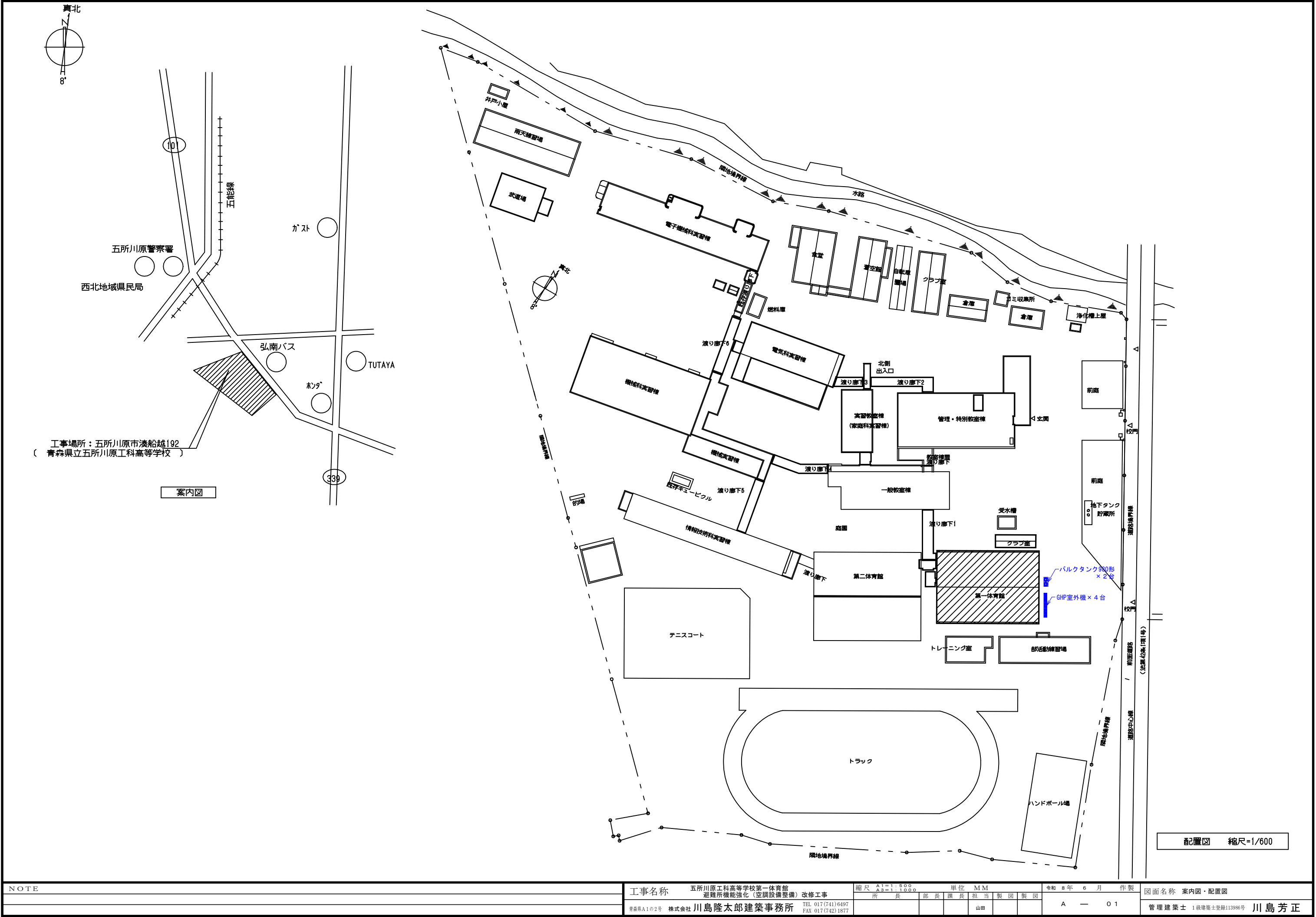
青森県

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

A-特11
※
※

[illegible]



NOTE	工事名称		縮尺		単位		令和 8 年 6 月 作製		図面名称 案内図・配置図
	五所川原工科高等学校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事		A1=1:500 A3=1:1000		MM		A — 01		
	所 長		部 長		課 長		担 当		
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		山田				管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正	

外 部 仕 上 表					特 記 事 項				
屋 根	体育館	ポリメリック可塑性配合特殊塩化ビニル樹脂系防水シートt=1.5 イソシアヌレートフォームボードt=50 ルーフデッキ折板山高150 t=1.0（裏打ち材：無機質高充填フォーム t=4）下地	柱 型	セメント中空押出成形板t=20 横張り（通気金具止め工法） 2-ASE塗り 透湿防水シート t=0.1 アルミ水切、下り壁下端アルミ見切縁、出隅 アルミ（ジョイントピース付）	断熱材	屋根：イソシアヌレートフォームボード t=50 （両面アルミ面材付タイプ、ジョイント部は目地テープ使用） 外壁：グラスウール t=100（24K） 土間：押出発泡ポリスチレンフォーム3種 b t=40（G L +400まで立下げ） 根回り：押出発泡ポリスチレンフォーム2種 b t=30 キャットウォーク下、ルーフドレーン下：ノンフロン硬質ポリイソシアヌレートフォーム t=40吹付	体育館棟 準耐火建築物 （ロ-2）	屋根（H12建設省告示第1365号 第一 三）： ポリメリック可塑性配合特殊塩化ビニル樹脂系防水シートt=1.5 イソシアヌレートフォームボードt=50（両面アルミ面材付） ルーフデッキ折板山高150 t=1.0 合成スラブ用デッキプレートt=1.2 山高50（FP030RF-0413、FP030RF-0327）	
	排水溝	ポリメリック可塑性配合特殊塩化ビニル樹脂系防水シートt=1.5 イソシアヌレートフォームボードt=50 合成スラブ用デッキプレートt=1.2 山高50	出入口 ステップ						
	風除室、 トイレ	ポリメリック可塑性配合特殊塩化ビニル樹脂系防水シートt=1.5 イソシアヌレートフォームボードt=50 合成スラブ用デッキプレートt=1.2 山高50							
	笠 木	塗装溶融55%アルミニウム亜鉛めっき銅板t=0.5包み 250×45							
軒 裏	無石綿けい酸カルシウム板t=6 目透し張り E P - G								
外 壁	セメント中空押出成形板t=20 横張り（通気金具止め工法） 2-ASE塗り アルミ水切、下り壁下端アルミ見切縁、出隅 アルミ（ジョイントピース付）								
開口部 建 具	アルミサッシ（建具廻りシーリングMS-2 10×10） 複層ガラス採用								
基 礎	コンクリート打放し補修（B種）								

※ 凡 例 は撤去部分を示す

既存 仕上表										改修 仕上表										
※ 特記無き限り各部位の仕上(下地)はそのままとする																				
階	室名	床		巾木		壁	天井			備考	室名	床		巾木		壁	天井			備考
		上段下地、下段仕上	床高	仕上	H	上段下地、下段仕上	上段下地、下段仕上	廻縁	天井高			上段下地、下段仕上	床高	仕上	H	上段下地、下段仕上	上段下地、下段仕上	廻縁	天井高	
1	風除室	コンクリート	-650	木製 SOP	100	L G S	L G S	塩ビ製	2,750		風除室	既存のまま	既存の まま	既存の まま	既存の まま	既存のまま	既存のまま	既存の まま	既存の まま	
		ビニル床シートt=2.5張り				しな合板t=5.5目透し張り(2類) SOP	無石綿ケイ酸カルシウム板t=6 目透し張りEP				既存のまま				既存のまま	既存のまま				
	アリーナ	鋼製床	±0	たも集成材 1-UC	100	木下地、軽量鉄骨			8,960 ～9,265	紅白幕取付金具φ900、 7&ミニ&M製床点検口(鍵付) 600×600(体育館用)、 アルミ製床換気口 1,000×200	アリーナ	鋼製床組 スタイロボード t-25張り	±0	たも集成材 UC	100	既存のまま		既存の まま	新設床上換気口、 新設床下点検口、 新設コートライン	
		針葉樹構造用合板t=12 積層フローリング t=18 (表面材 t=6) 特殊張り UC3回塗				針葉樹構造用合板t=15下地 しな合板t=5.5目透し張りOSCL 有孔しな合板t=9目透し張りOSCL 腰壁 木脚縁部ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙt=50充填	現し(鉄部見掛け部分：SOP)				ﾗｳﾝ合板(T1)t=15+15捨張の上 体育館用長尺弾性塩ビシート t-2				既存のまま 一部補修	既存のまま		既存床面体育器具一式再取付		
	ステージ	コンクリート金ゴテ仕上の上鋼製床組(H=500)	+1000	たも集成材 1-UC	100	木下地、軽量鉄骨			6,030	ｽﾃｰｼﾞ幕一式、吊りﾊﾞｯﾄ、 校章、校歌額、 映写スクリーン取付、1 ステージ階段:手摺取付 φ34(鉄集成)1箇所	ステージ	鋼製床組	+1000	たも集成材 UC	100	既存のまま			既存のまま	
		針葉樹構造用合板t=12 複合フローリング張り t=12(塗装品)				しな合板t=5.5目透し張りOSCL	現し(鉄部見掛け部分：SOP) 葡萄欄：105×45φ75(松) OS(黒色)				針葉樹構造用合板t=12下地 複合フローリング張り t=12(塗装品)				既存のまま	既存のまま				
	ステージ下 台車収納庫	コンクリート金ゴテ仕上	±0							椅子収納台車(1台)、 既設椅子収納台車 (50脚収納)(8台)	ステージ下	既存のまま、一部撤去	±0	既存の まま	既存の まま	現し	現し			
						現し	現し					既存のまま 一部コンクリート金ゴテ押え				現し	現し			
	放送室	木床組	+1000	たも集成材 1-UC	100	L G S	L G S	塩ビ製	2,200		放送室	既存のまま	既存の まま	既存の まま	既存の まま	既存のまま	既存のまま	既存の まま	既存の まま	
		針葉樹構造用合板t=12 複合フローリング張り t=12(塗装品)				有孔ケイ酸カルシウム板t=6張りEP (ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙt=50(24K)(不燃)充填)	有孔ケイ酸カルシウム板t=6張りEP (ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙt=50(24K)(不燃)充填)				既存のまま				既存のまま	既存のまま				
	通路 (収納庫 ⇄ｽﾃｰｼﾞ)	木床組	+1000	木製 SOP	100	L G S	L G S				通路 (収納庫 ⇄ｽﾃｰｼﾞ)	既存のまま	既存の まま	既存の まま	既存の まま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	
		針葉樹構造用合板t=12 複合フローリング張り t=12(塗装品)				ラワン合板t=9(2類)	化粧石膏ボード t=9.5				既存のまま				既存のまま	既存のまま				
	収納庫	コンクリート	±0	木製 SOP	100	木下地、軽量鉄骨				収納棚	収納庫	既存のまま	±0	木製(杉) SOP	75	既存のまま				
		ビニル床シートt=2.5				ラワン合板t=9(2類)	現し(鉄部見掛け部分：SOP)				既存のまま				既存のまま	既存のまま				
	器具庫	コンクリート	±0	木製 SOP	100	木下地、軽量鉄骨				収納棚	器具庫	コンクリート金ゴテ仕上 鋼製床組	±0	木製(杉) SOP	75	木下地、軽量鉄骨				
		ビニル床シートt=2.5				ラワン合板t=9(2類)	現し(鉄部見掛け部分：SOP)				ﾗｳﾝ合板(T1)t=15+15捨張の上 長尺塩ビシートt=2.0				給気口用開口の後、木製枠取付EP +木質系ルーバー50角取付	既存のまま				

NOTE

工事名称

五所川原工科高等学校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

縮尺

—

単位

MM

令和 8 年 6 月 作製

図面名称 仕上表

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

山田

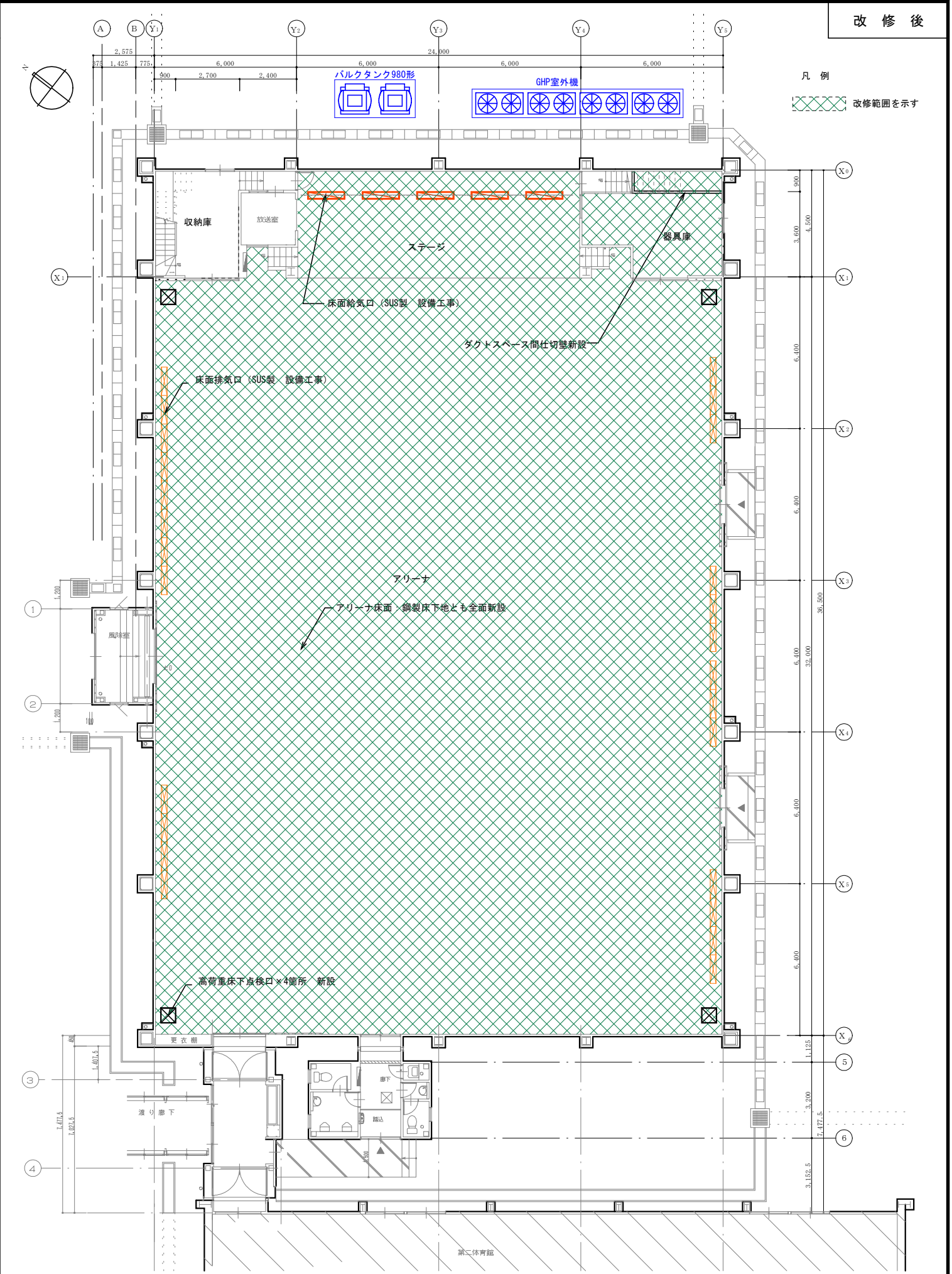
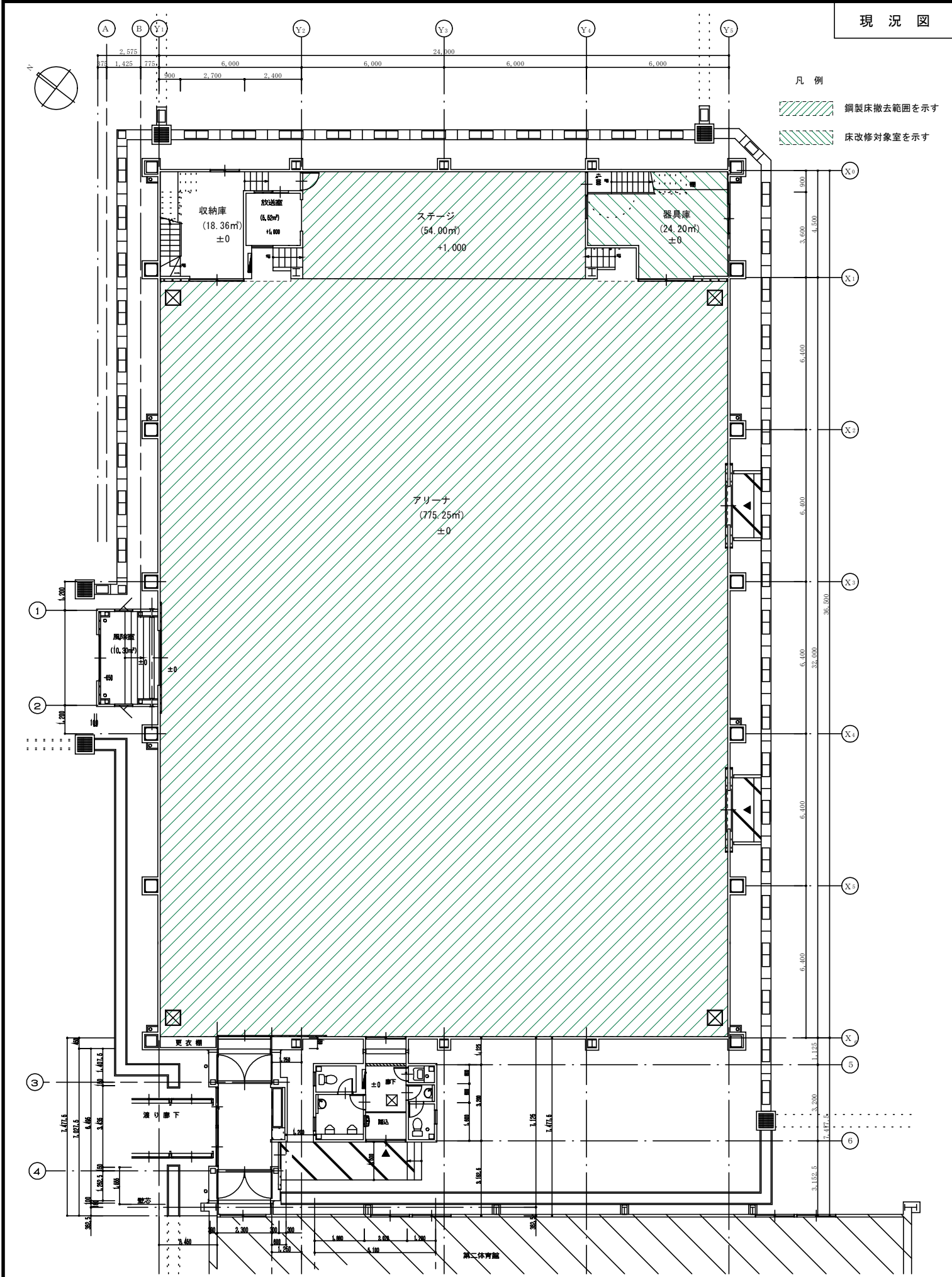
製 図

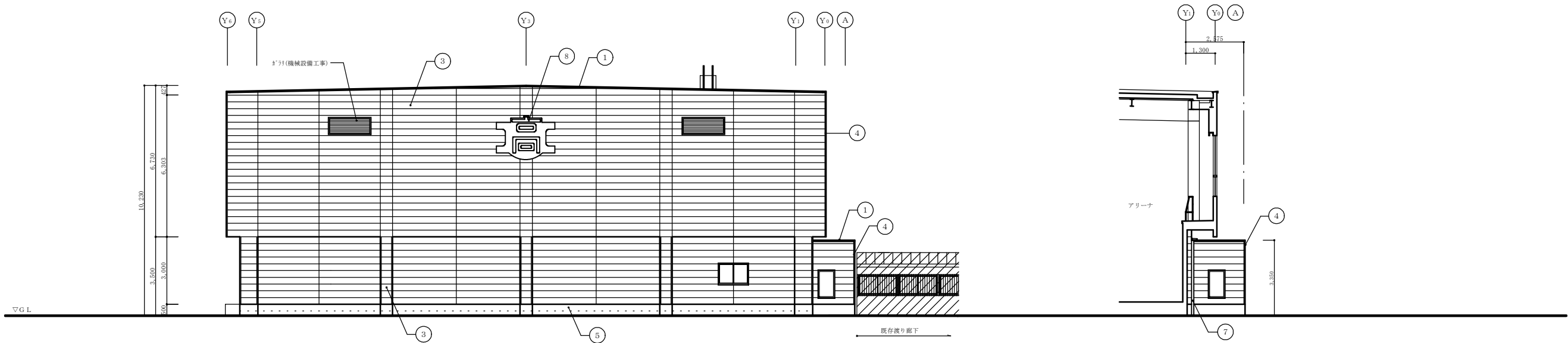
製 図

A — 0 2

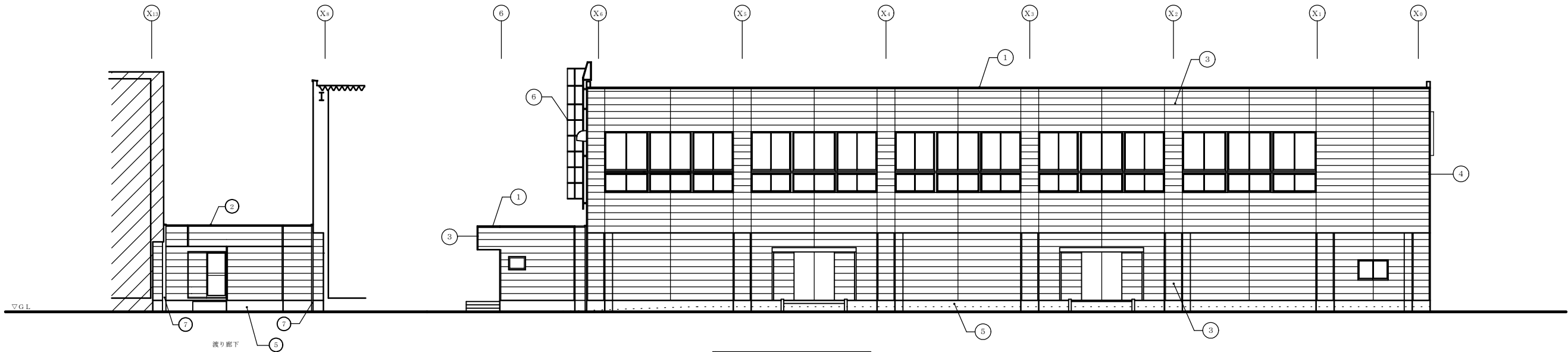
管理建築士 1級建築士登録113986号

川島芳正





東面 立面図 S=1/100



南面 立面図 S=1/100

外 部 仕 上 表	
①	窓木：塗装溶融55%74にめっき鋼板t=0.5包み 250×45
②	窓木：アルミ製 W=200
③	外壁・柱型：セメント中空押出成形板 t=20 2-ASE塗り
④	外壁・柱型コーナー：アルミ(ジョイントピース付)
⑤	基礎立上り：コンクリート打放し補修 (B種)
⑥	タラップ (安全ガード付)
⑦	E X P. J アルミ製カバー(1時間耐火仕様)
⑧	校章：W2,500×H2,000×t150 材質：防水処理MDF(Lタイプ) 仕上：高耐熱性UV仕上樹脂塗料塗装仕上 3回塗

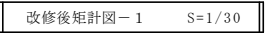
NOTE

工事名称		縮尺		単位		令和 8 年 6 月 作製		図面名称 立面図 (現況図)	
五所川原工科大学第一体育館 避難所機能強化(空調設備整備) 改修工事		A3=1:30 A3=1:60		MM		A — 04		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		部長 課長 担当 製図 製図		山田			

現 況 図



改修後



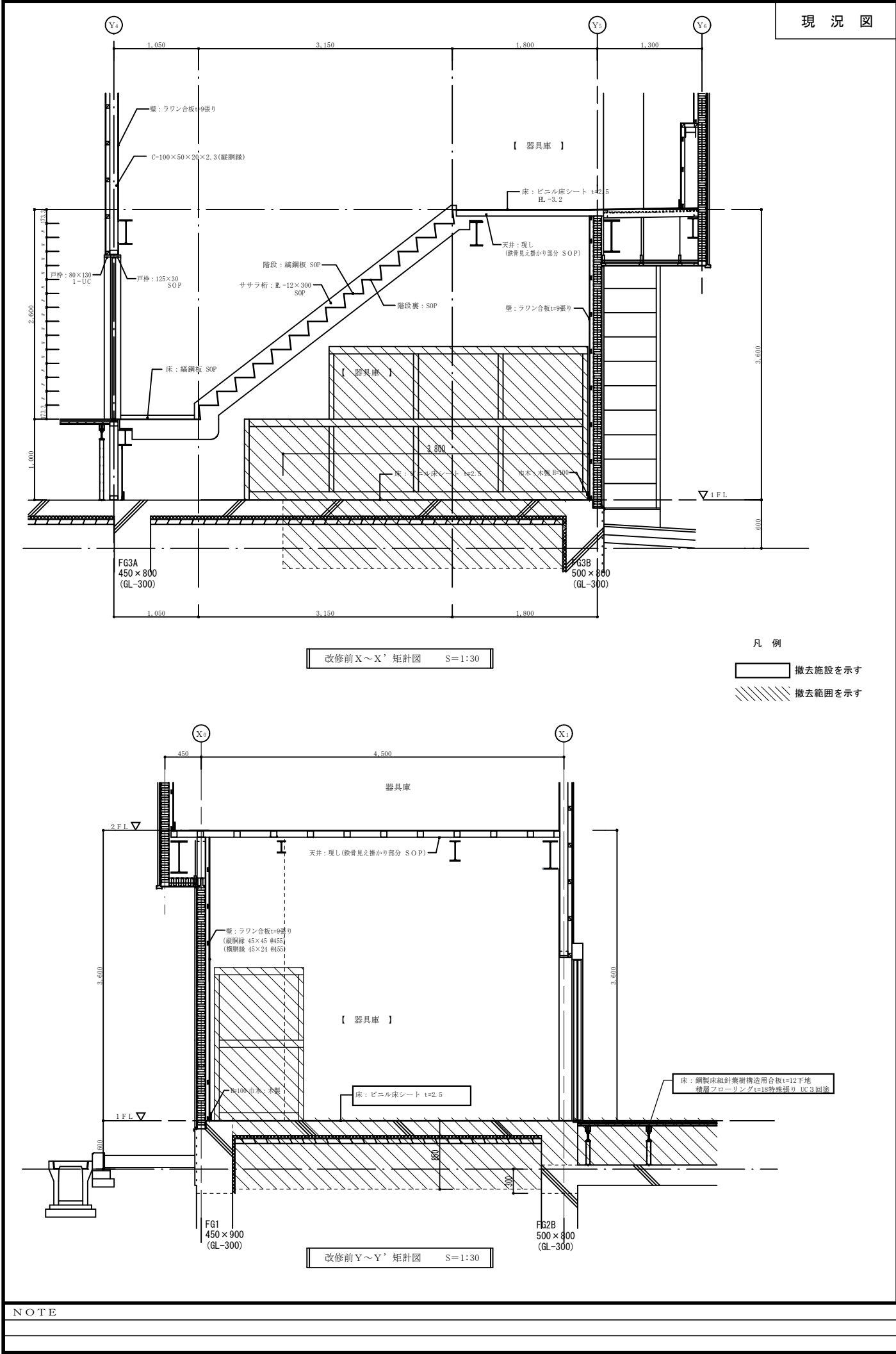
NOTE

工事名称	五所川原工科高等学校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事		
青森県A1の2号 株式会社	川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497	FAX 017(742)1877

縮尺	A1=1:30 A3=1:60	単位					MM
所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図		
			山田				

令和 8 年 6 月 作製
A — 05

図面名称	矩計図－１（既存図・改修図）		
管理建築士	１級建築士登録113986号	川島芳正	

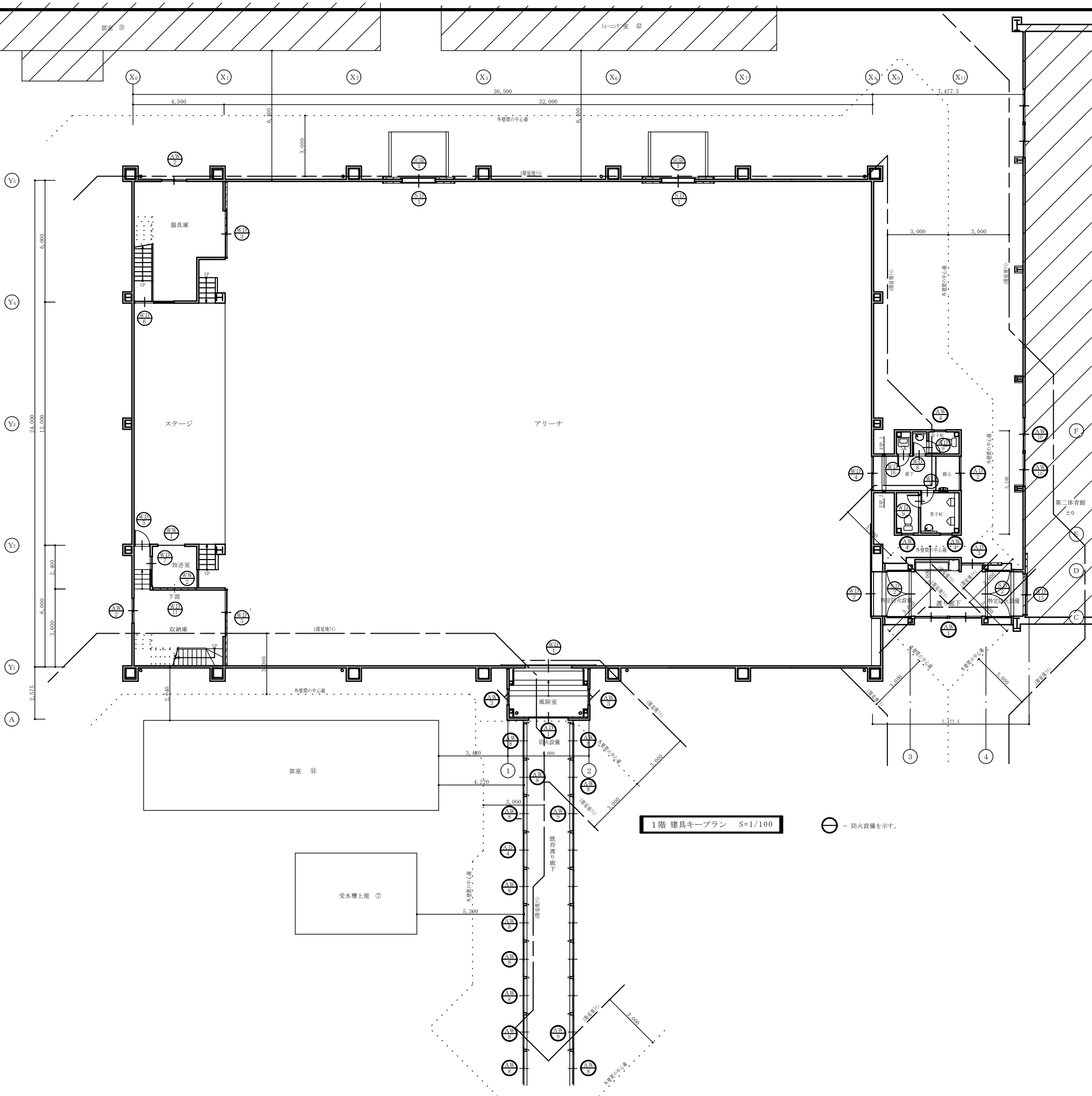


採 光 ・ 換 気 の 検 討			
アリーナ・ステージ 床面積 829.25 ㎡ S=32.0×24.0+4.50×12.0+1.30×2.15×2 +0.45×1.25+0.45×2.45=829.25 ㎡			
採光必要面積	829.25 ㎡ × 1/5	= 165.85	
採光補正係数	3.0		
採光有効面積	$\frac{1.89 \times (1.70+0.90) \times 3 \times 2 + 1.78 \times (1.70+0.90) \times 3 \times 6 + 1.84 \times (1.70+0.90) \times 1 \times 2}{AF=5 \times 2} \times 3.0$ AF=6×6 AF=7×2 = 424.47 OK		
換気必要面積	829.25 ㎡ × 1/20	= 41.46	
換気有効面積	$\frac{1.89 \times (1.70+0.90) \times 3 \times 1/2 \times 2 + 1.78 \times (1.70+0.90) \times 3 \times 1/2 \times 6 + 1.84 \times (1.70+0.90) \times 3 \times 1/2 \times 2}{AF=5 \times 2}$ AF=6×6 AF=7×2 +1.62×2.185×2 SUSO=1×2 = 77.82 OK		
放送室	床面積 5.52 ㎡ S=2.30×2.40=5.52 ㎡		
機械換気設備の検討	$V = \frac{204F}{N}$ Af=5.52 ㎡ N=2.76 ㎡(収容人数 2人) V=20×5.52/2.76=40 ㎧/h 決定換気量 Q=60m3/h(0.6U-1) ∴ 40m3/h < 60m3/h		

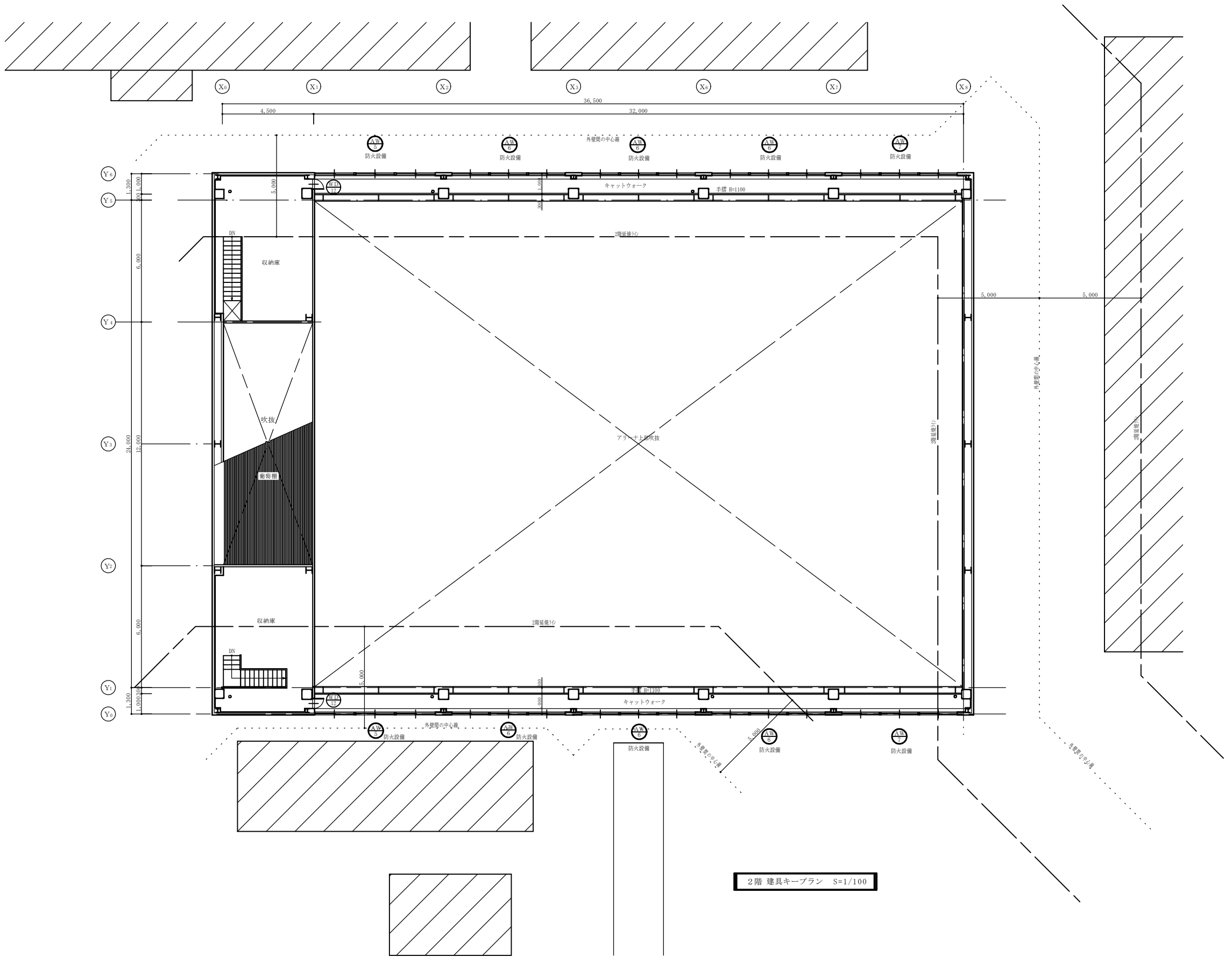
採光は建築基準法第28条第1項ただし書に規定する「用途上やむを得ない居室」に該当ため緩和
平成7年建設省住指発第153号

渡り廊下棟					
消 防 法 無 意 階 の 検 討					
1階床面積 20.46㎡		必要開口部面積 20.46㎡×1/30=0.68㎡	有効開口部面積 合計 38.85㎡		
建具記号	床面からの高さ(m)	幅(m)×高さ(m)×所在ヶ所	開口部面積 小計(㎡)	開口部種別	備考
AF-1	0.87	1.565×1.20×2×1/2	1.87	引違い窓	開口部ガラス
AD-1	0	0.85×2.00×1/2	0.85	引違い戸	開口部ガラス
		合計	2.72		

体育館棟は無意階とする。



NOTE		工事名称		縮尺		単位		MM		令和 8 年 6 月 作製		図面名称		(現況図)	
		五所川原工科大学第一体育館 避難所機能強化(空調設備整備) 改修工事		所 長		部 長		課 長		担 当		製 図		製 図	
		青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				山田				A — 07		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正	

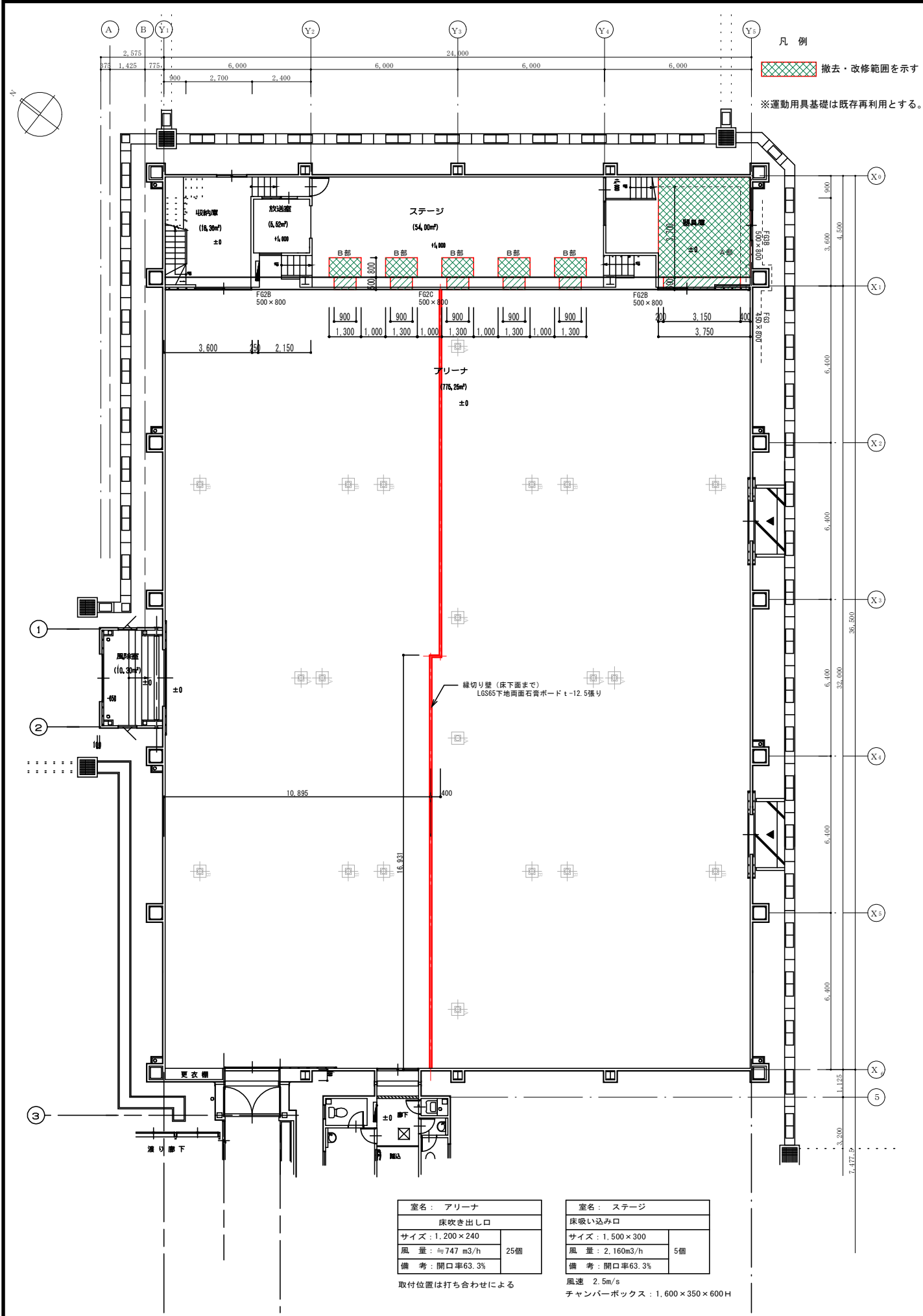


NOTE

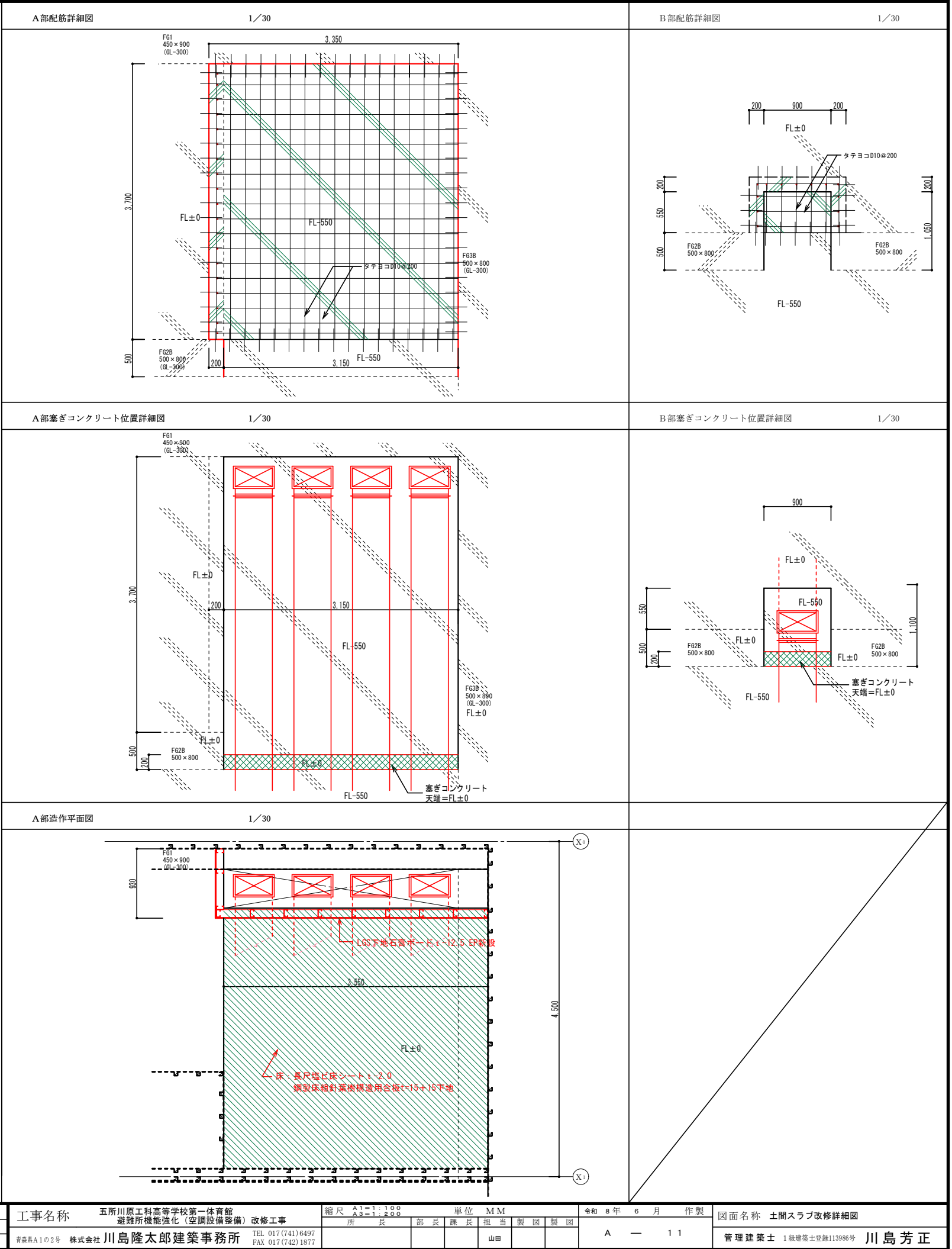
工事名称 五所川原工科大学高等学校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事 青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	縮尺		単位		MM		令和 8 年 6 月 作製		図面名称 2階建具伏図 (現況図)	
	所	長	部	長	課	長	担	当	製	図
							山田			

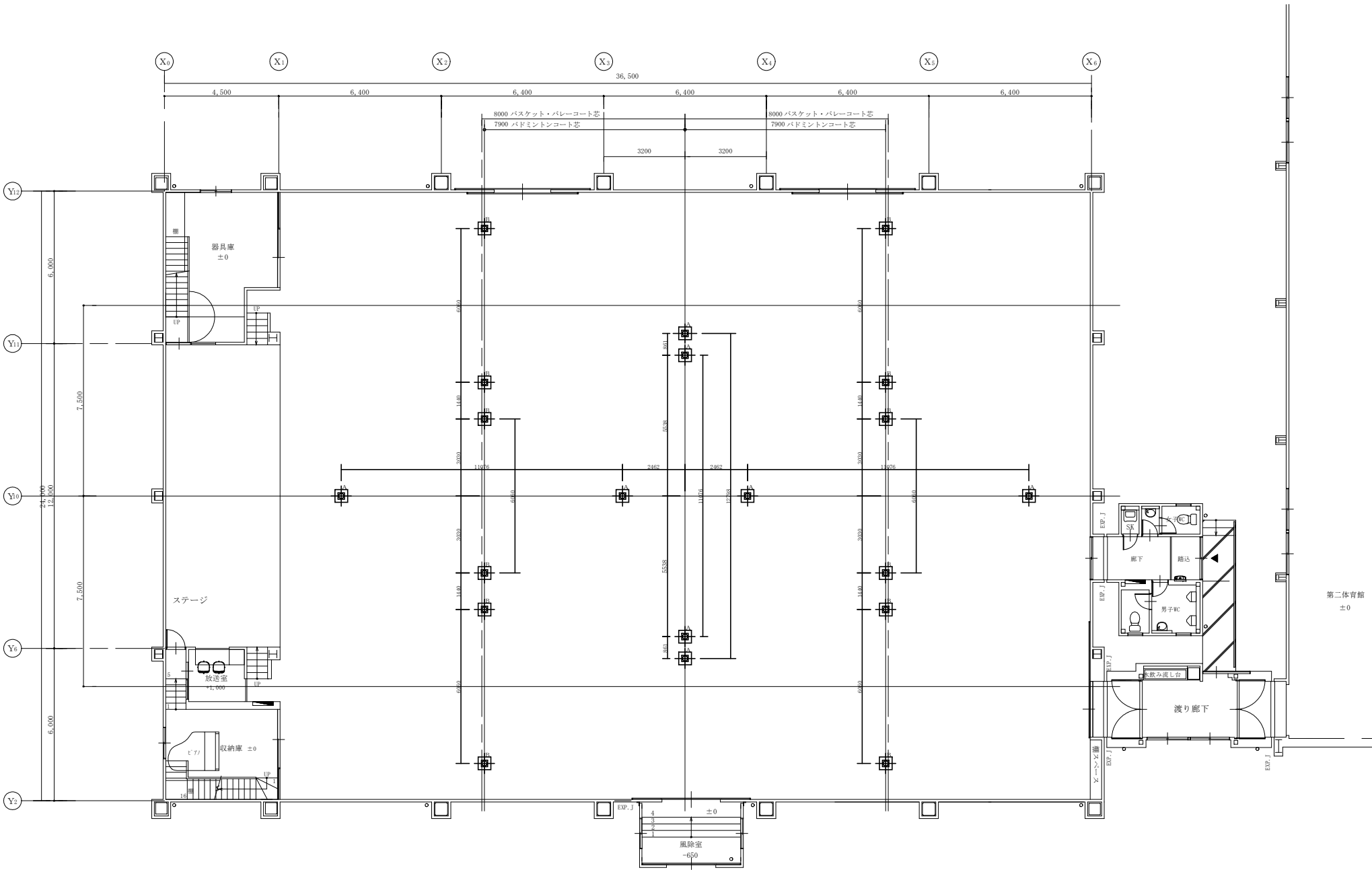
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

記号・数量	AD－1 風除室 1ヶ所	AD－2 廊下(トイレ側) 1ヶ所	AD－3 渡り廊下 1ヶ所	AW－1 渡り廊下 1ヶ所	AW－2 1階器具庫、収納庫 2ヶ所	AW－3 風除室 2ヶ所	
形状・寸法							
種別・方式	アルミ製 引分けドア (防火設備)	アルミ製 引違いドア (防火設備)	アルミ製 片引きドア (防火設備)	アルミ製 2連引違い窓 (防火設備)	アルミ製 引違い窓	アルミ製 外開き窓(防火設備)	
仕上・見込	シルバー 70	同 左	同 左	同 左	同 左	シルバー 70	
硝子	PW6.8t	複層ガラス PW6.8t+A6+FL5t(7ヶ付付)	同 左(7ヶ付付)	複層ガラス PW6.8t+A6+FL3t	複層ガラス FL3t+A6+FL4t	PW6.8t	
金物	錠前、三方枠、ステンレスレール、引戸用シリンダー錠、戸草、水切、引手、中継付 附属金物一式	錠前、三方枠、ステンレスレール、シリンダー錠、戸草、水切、引手、中継付 附属金物一式	錠前、三方枠、ステンレスレール、引戸用シリンダー錠、戸草、水切、引手、中継付 附属金物一式	クレセント、水切り、結露受け 附属金物一式	クレセント、水切り、結露受け 附属金物一式	レバーハンドル、水切、結露受け、ストッパー付 附属金物一式	
備考	防火戸仕様 常時開放 可	防火戸仕様 常時開放 可	防火戸仕様 常時開放 可	防火戸仕様		開き勝手建具キープラン参照 防火戸仕様	
記号・数量	AW－4 男子WC、女子WC 3ヶ所	AW－5 2階キャットウォーク 2ヶ所	AW－6 2階キャットウォーク 6ヶ所		AW－7 2階キャットウォーク 2ヶ所		
形状・寸法							
種別・方式	アルミ製 入り出し窓(防火設備)	アルミ製 2段3連引違い窓(防火設備)	アルミ製 2段3連引違い窓		アルミ製 2段3連引違い窓(防火設備)		
仕上・見込	シルバー 70	シルバー 100	シルバー 100		シルバー 100		
硝子	複層ガラス PW6.8t+A6+FL4t	複層ガラス PW6.8t+A6+FL5t	複層ガラス PW6.8t+A6+FL5t		複層ガラス PW6.8t+A6+FL5t		
金物	カムラッチハンドル、水切、結露受け 附属金物一式	クレセント、水切り、結露受け 附属金物一式	クレセント、水切り、結露受け 附属金物一式		クレセント、水切り、結露受け 附属金物一式		
備考	防火戸仕様	防火戸仕様	防火戸仕様		防火戸仕様		
記号・数量	SD－1 アリーナ 2ヶ所	SD－2 渡り廊下 2ヶ所	SUSD－1 アリーナ 2ヶ所	AD－4 既存渡り廊下 1ヶ所	AW－8 既存渡り廊下 12ヶ所	AW－9 既存渡り廊下 2ヶ所	AW－10 既存第二体育館 2ヶ所
形状・寸法							
種別・方式	スチール製 引分けハンガードア	スチール製 両開き戸 (煙感知器連動常時開放式) (特定防火設備)	ステンレスフラッシュハンガー式引分戸(支給品)	アルミ引き違戸	アルミ引違い窓	アルミ引違い窓	アルミ引違い窓
仕上・見込	SOP 扉：40 スチール(枠：フラッシュ)	亜鉛メッキ銅板 (錆止め) 1.6t SOP 100					
硝子	ポリカボネート板 t=6			既存透明ガラスt=5撤去後、網入りガラスt=6.8に取替	既存透明ガラスt=5撤去後、網入りガラスt=6.8に取替	既存透明ガラスt=5撤去後、網入りガラスt=6.8に取替(延焼の恐れのある部分)	既存透明ガラスt=5撤去後、網入りガラスt=6.8に取替
金物	ハンガー金物、引手、引き戸用空錠 附属金物一式	オートヒンジ、ケースハンドル、フロアヒンジ、番づり 附属金物一式	ステンレス笠木 W=120				
備考		戸袋	既存扉、枠、レール、金物は再利用。クリーニング				
凡例	※外部への出口は、手動にて解錠できるため避難上支障はなし。						
FL	フロート板ガラス						
F	型板ガラス						
PW	網入ガラス						
T	強化ガラス						
複層ガラス	室外側ガラス+中空層+室内側ガラス						
NOTE							
工事名称				五所川原工料高等学校第一体育館 避難所機能強化(空調設備整備)改修工事			
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所				TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877			
縮尺				単位 MM			
所 長				部 長			
				課 長			
				担 当			
				製 図			
				製 図			
				山 田			
				令和 8 年 6 月 作製			
				A 10			
図面名称 建具表－2 (現況図)				管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正			



NOTE

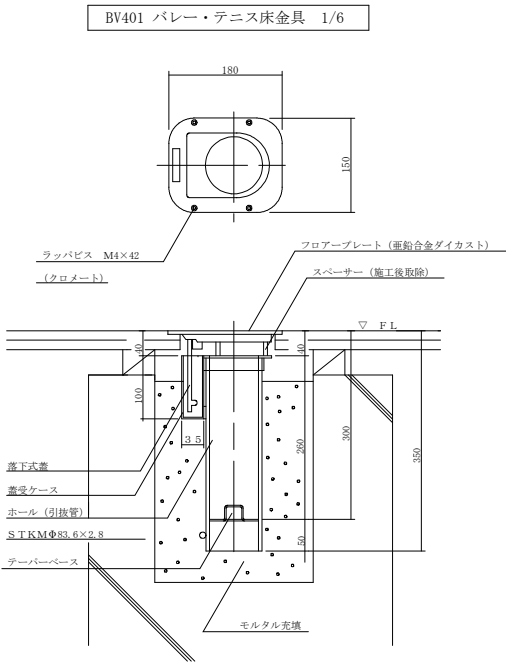




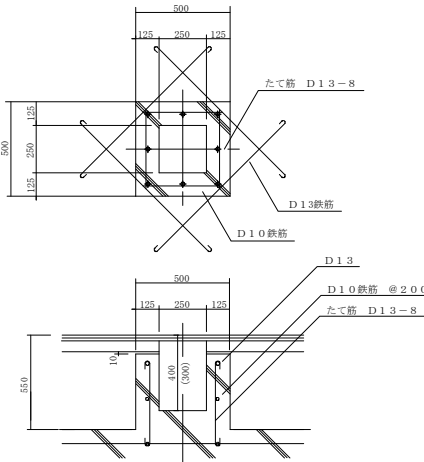
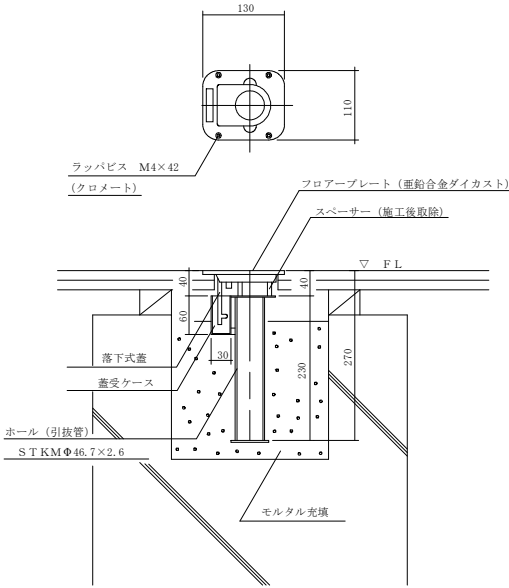
器具基礎伏図 S=1/100

床下基礎内訳表

記 号	名 称	個 数	空洞深さ
A	バレー・テニス用	8	400
B	バドミントン用	12	300
合 計		20	

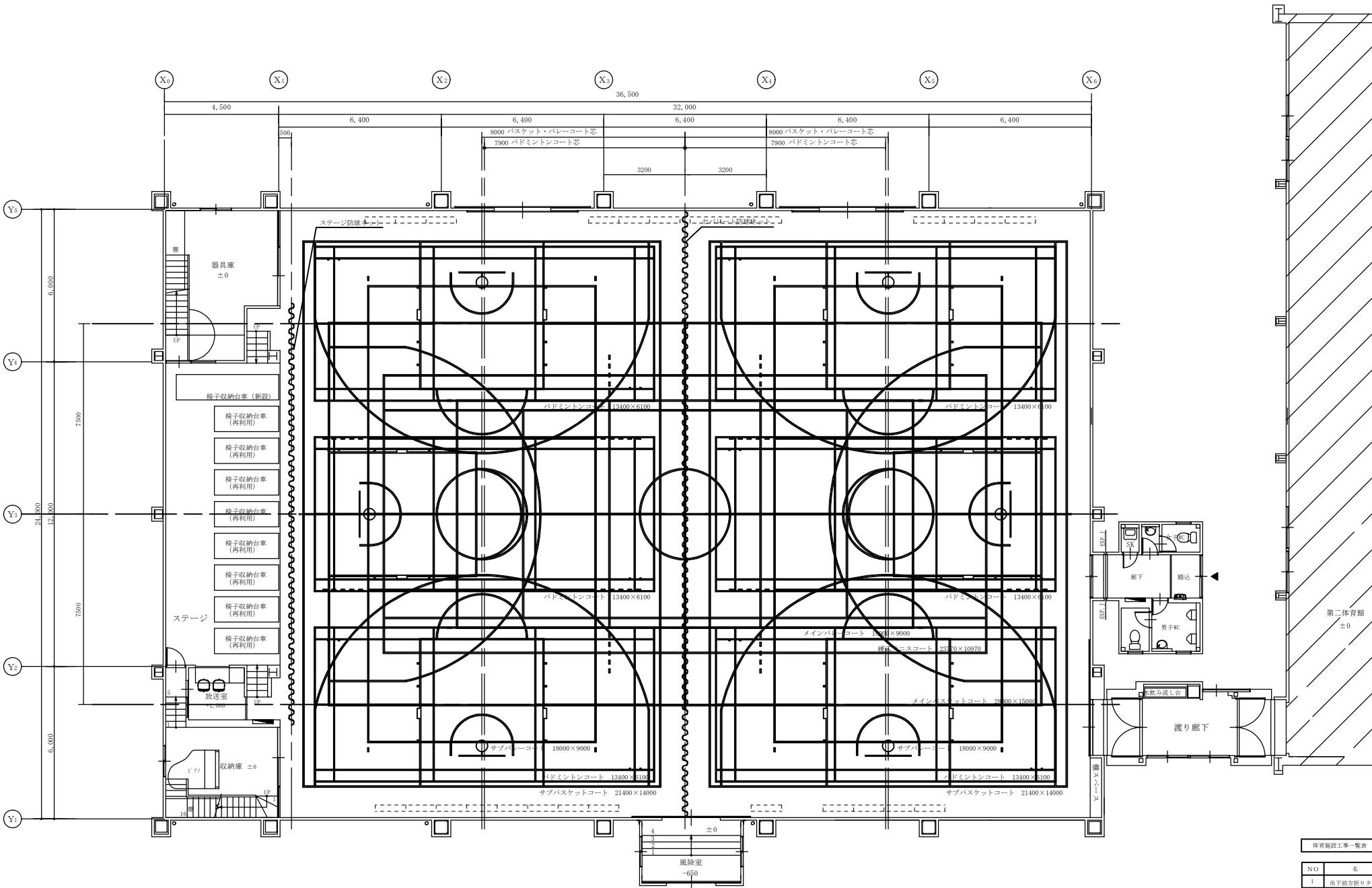


BD601 バドミントン床金具 1/6



基礎詳細図 1/20

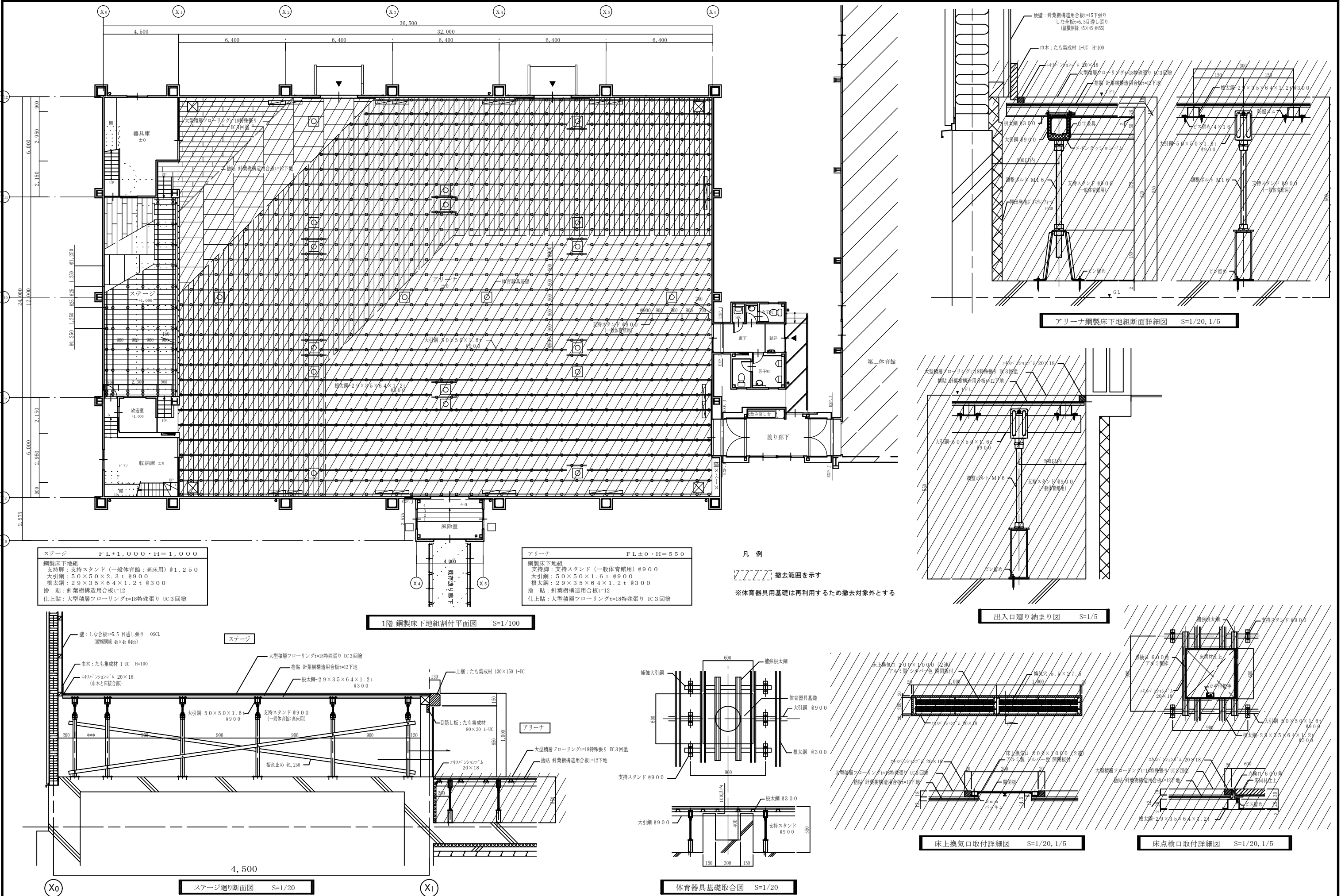
NOTE



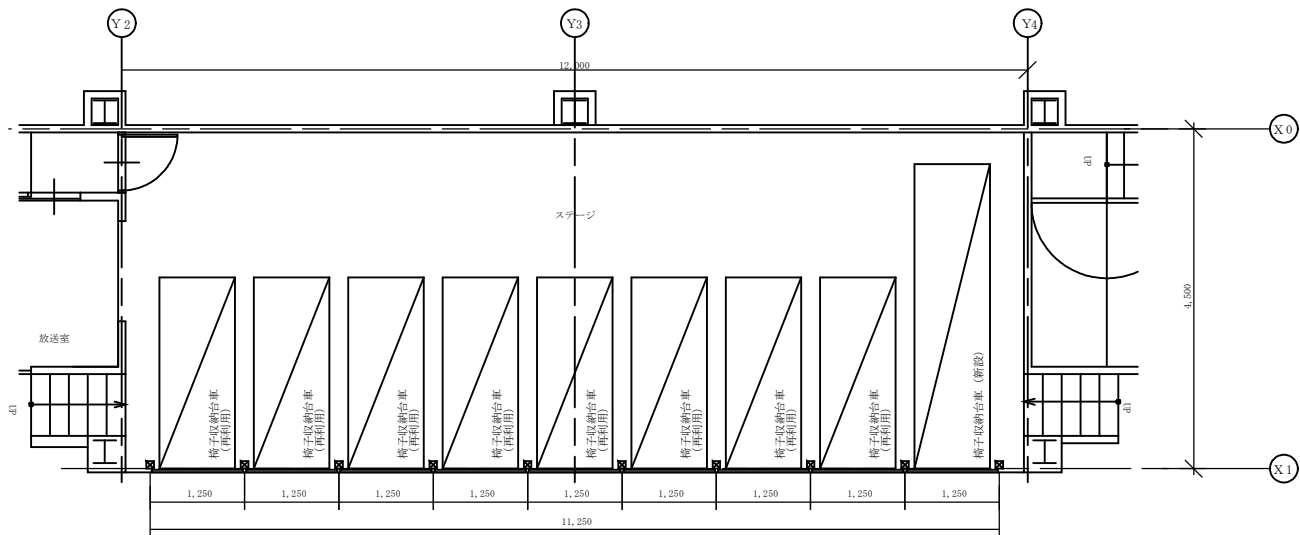
コートライン平面図 S=1/100

体育施設工事一覧表						
NO	名 称	数 量	規 格 仕 様			撤去、再利用の別
1	落下防止タタミ式バスケット台	12台	プラスチックボード付 クイック操作式 日本バスケットボール協会検定品			再利用
2	本塁引込折りたたみ式バスケット台	22台	プラスチックボード付 フロアハンドル式 日本バスケットボール協会検定品			再利用
3	バレー床止め金具	32台	φ76.3支柱用 船床用 完全床置き スライドロック式 亜鉛合金ダイカスト製			再利用 (支柱基礎除)
4	バレー支柱	22台	φ76.3 アルミ合金製 ハンドル高さ式			再利用
5	バレーネット	22枚	ナイロン、バトラシコード 1400mm/18本			再利用
6	バドミントン床止め金具	62台	φ40.0支柱用 船床用 完全床置き スライドロック式 亜鉛合金ダイカスト製			再利用 (支柱基礎除)
7	バドミントン支柱	62台	φ40.0 完全床置き ホール式			再利用
8	バドミントンネット	62枚	ナイロンラッセル 亜褐色			再利用
9	網式テニス床止め金具	12台	φ76.3支柱用 船床用 完全床置き スライドロック式 亜鉛合金ダイカスト製			再利用
10	テニス用センターストラップ金具	1個	フロアリング用			再利用
11	網式テニス支柱	12台	φ76.3 特殊鋼管製 ネット寄付			再利用 (支柱基礎除)
12	網式テニスネット	12枚	ナイロン、バトラシコード 1400mm/18本 センターストラップ付			再利用
13	メインバスケットコートライン引	1組	28000×15000	全ライン 実線	ライン巾50 青色 (監督官と協議のこと)	床材復旧の後、再設置
14	サブバスケットコートライン引	2組	21400×14000	全ライン 実線	ライン巾50 白色 (監督官と協議のこと)	床材復旧の後、再設置
15	6人制メインバレーコートライン引	1組	18000×9000	全ライン 実線	ライン巾50 赤色 (監督官と協議のこと)	床材復旧の後、再設置
16	6人制サブバレーコートライン引	2組	18000×9000	全ライン 実線	ライン巾50 黄色 (監督官と協議のこと)	床材復旧の後、再設置
17	バドミントンコートライン引	6組	13400×6100	全ライン 実線	ライン巾40 緑色 (監督官と協議のこと)	床材復旧の後、再設置
18	網式テニスコートライン引	1組	23770×10970	全ライン 実線	ライン巾50 白色 (監督官と協議のこと)	床材復旧の後、再設置
19	ステージ防護ネット	1組	16400×8100	両開 ロープ操作式	ポリエチレン440d t e x /44本 100角目 シルバーグレー	再利用
20	セパレート防護ネット	2組	23900×5100	両開 ロープ操作式	ポリエチレン440d t e x /44本 100角目 シルバーグレー	再利用
21	椅子収納台車	1台	本体長さ 4000 (90度収納) 化粧鋼製折り組付機			撤去
22	椅子収納台車	9台	既製品再利用 (50度収納) 化粧鋼製折り組付機			撤去

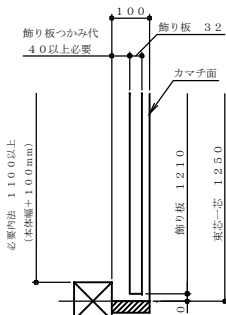
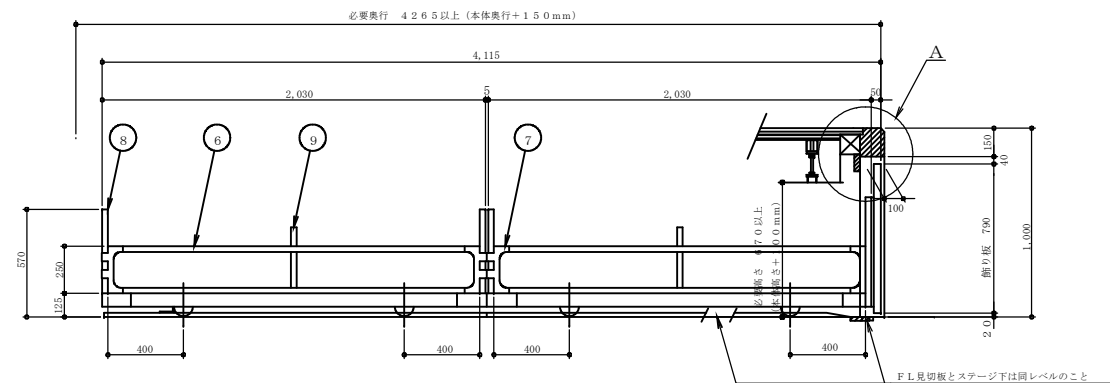
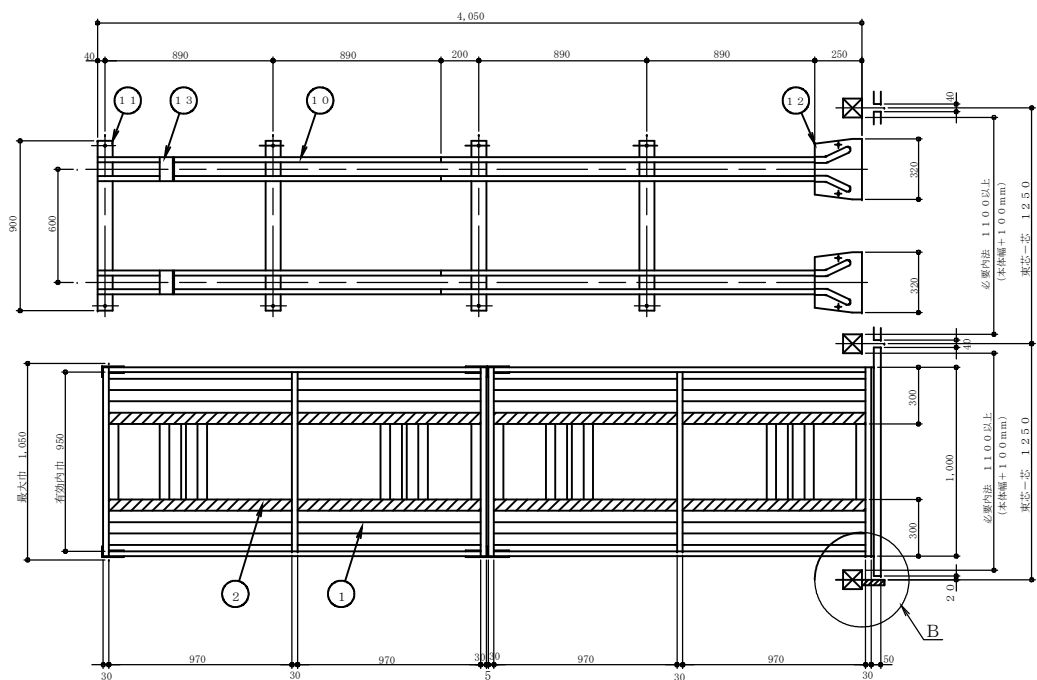
NOTE



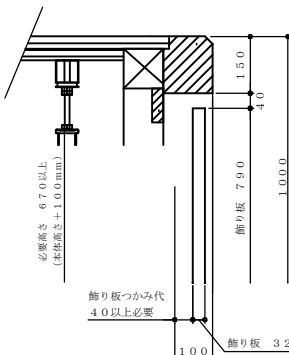
NOTE	工事名称	五所川原工科大学第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事	縮尺	単位	MM	令和 8 年 6 月 作製	図面名称	既存鋼製床伏図（撤去図）
	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図		
				山 田				
	青森県A12号	株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				管理建築士 1級建築士登録113986号	川島芳正



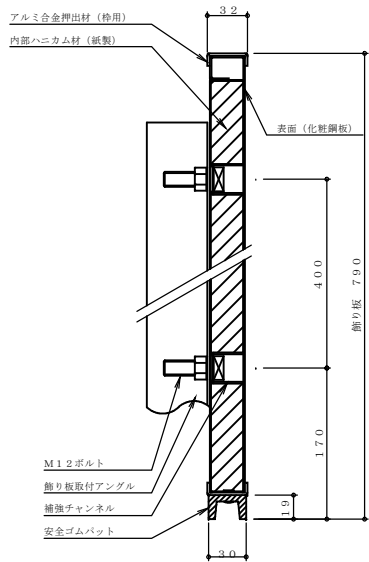
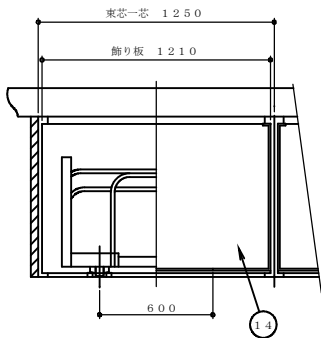
配置平面図 S=1/50



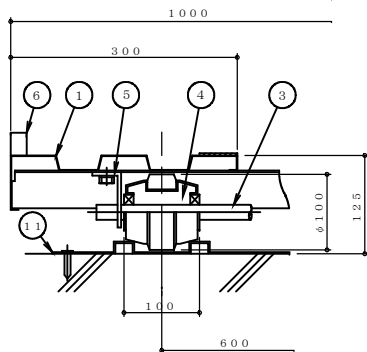
B部取合図 (S=1/10)



A部取合図 (S=1/10)



飾り板断面図 (S=1/3)



レール、レール床、車輪関係図 (S=1/5)

主 構 成 部 品			
NO	品 名	材 料 ・ 加 工	表面処理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t 0.9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り止 め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 軸	機械構造用炭素鋼鋼管 φ 20 × t 2, 5	亜鉛メッキ
4	車 輪	冷延鋼板 t 2.0 をプレス加工した後、その外周に合成ゴムを焼付けした一体型車輪 (軸受部はベアリング嵌合)	
5	軸 受	熱延鋼板 t 4.5 を曲げ加工	焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30 × 20 × t 0.8	亜鉛メッキ
7	ジョイントコネクター	熱延鋼板 t 2.0 を曲げ加工	焼付塗装
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30 × 20 × t 0.8	亜鉛メッキ
9	椅子倒れ止 め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30 × 20 × t 0.8	亜鉛メッキ
10	レール	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t 6.0 を曲げ加工	焼付塗装
14	飾り板	化粧鋼板 t 0.8 を曲げ加工し、アルミ製枠にて保護したものの中にハニカム材 (紙製) をはめ込んだもの。 (合成ゴム製安全パッド付)	樹脂コーティング

備 考

- 製作数 1列 1輛 (フジトラックF T-1 T-4000 L) 椅子収納台車
- レールの製作及び取付工事はこの設備に含ます
- 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含ます (再利用台車分を含め9枚)
- レール下地 (コンクリート) はこの設備より除外とします

別途工事

- レール設置部床仕上工事

NOTE

工事名称

五所川原工科大学第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事

縮尺

単位

MM

令和 8 年 6 月 作製

図面名称

既存収納台車 詳細図 (撤去図)

管理建築士

1級建築士登録113986号

川島芳正

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

1. 設計条件

・ 本設備エリアの温度条件は下記表を参照する

	外 気		室 内	
	D B℃	R H%	D B℃	R H%
夏季		%		%
冬季		%		%

2. 工事条件

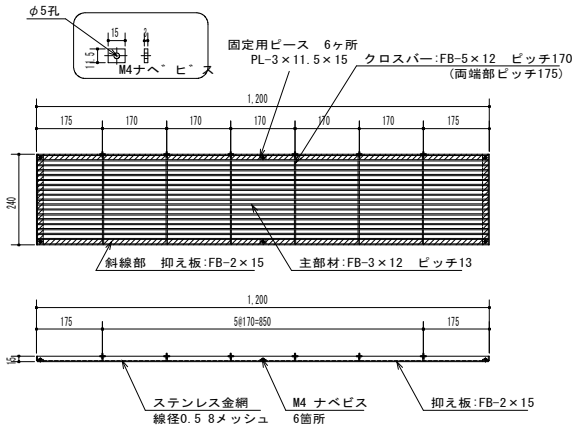
- ・ 二重床内のダクト工事及び噴流ノズル取り付け工事は、本体工事とする。
- ・ 矩形ダクトの接続は、差し込み式とする
- ・ フレキシブルダクトは不燃認定品を使用する。
- ・ 輻射範囲の二重床下ダクトは保温を行わない。
- ・ 室内環境測定として次の項目を測定する。（床輻射冷暖房設備工事）
室内温度・室内湿度・風速・輻射温度・床表面温度

3. 工事区分表

	工 事 項 目	建築工事	空調設備工事		備 考
			床輻射冷暖房設備工事	空調設備工事	
1	空調ダクト工事		○	○	*1
2	噴流ノズル取り付け工事（材料・工事共）		○		
3	床下断熱工事（材料・工事共）	○			
4	立ち上がり部分断熱工事（材料・工事共）	○			
5	吹き出し口・床吸い込み口取付工事		○		*2
6	床工事	○			
7	床仕上げ工事	○			
8	室内環境測定（夏期・冬期）		○		

*1 床輻射冷暖房工事と空調設備工の取り合いは打ち合わせによる
*2 開口 補強は建築工事

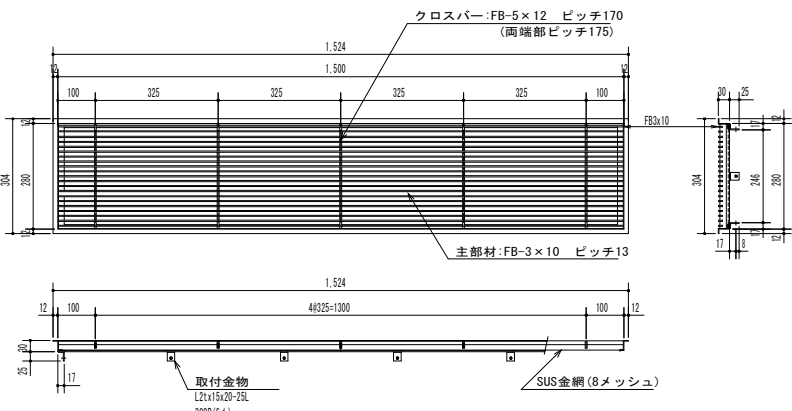
床吹き出し口



器具公称寸法	L	W	板厚	材質	面仕上	床開口寸法	取付用ビス
1200×240	1200	240	3.0	SUS304	HL	1170×210	φ

金網 (8メッシュ/SUS304)
有効開口率 63.3%

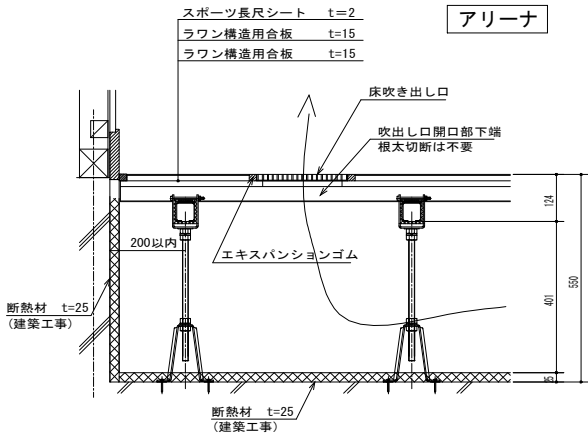
床吸い込み口



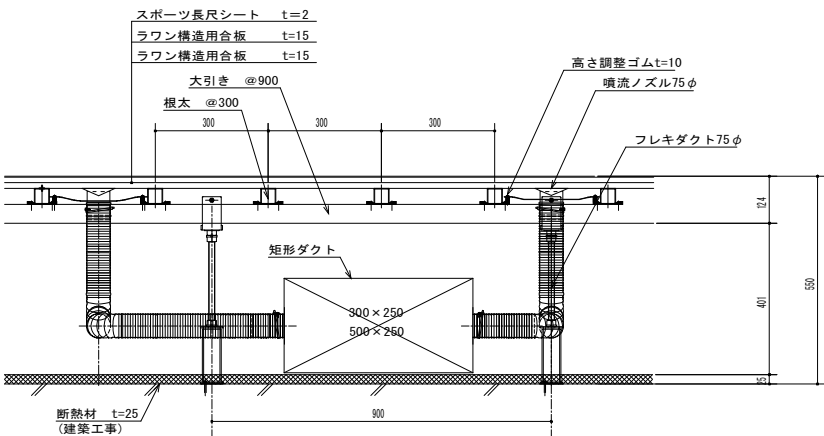
器具公称寸法	L	W	板厚	材質	面仕上	床開口寸法
1500×300	1524	304	3.0	SUS304	HL	1506×286

金網 (8メッシュ/SUS304)
有効開口率 63.3%

床吹き出し口取付詳細図



床断面図



NOTE

工事名称	五所川原工科高等学校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事	縮尺	A1:1/10 A3:1/20	単位	MM	令和 8 年 6 月 作製	図面名称	雑詳細図
所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	A — 1 6	管理建築士	1級建築士登録113986号 川島芳正
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877			山田	成田			

500

3,400

500

500

1,700

500

縦型バルクタンク

既存アスファルト舗装撤去・改修範囲を示す

バルクタンク基礎 平面図 1/50

500

200

W × D

面取り

コンクリート金ゴテ

RC40

砂

端部D13

150

150

150

300

300

600

GL

150

150

150

300

300

600

GL

アスファルト混合物 t-50
再生砕石RC-40 t-150
調整山砂 t-150

バルクタンク基礎 断面詳細図 1/20

凍結深度一覧

青森北高等学校	54cm
五所川原工科高等学校	55cm
弘前高等学校	57cm
八戸北高等学校	57cm

500

1,900

500

500

1,100

500

面取り

コンクリート金ゴテ

タテヨコD10@200

RC40

砂

端部D13

150

150

150

300

300

600

GL

既存アスファルト舗装撤去・改修範囲を示す

GHP屋外機基礎 平面図 1/50

500

面取り

コンクリート金ゴテ

タテヨコD10@200

RC40

砂

端部D13

150

150

150

300

300

600

GL

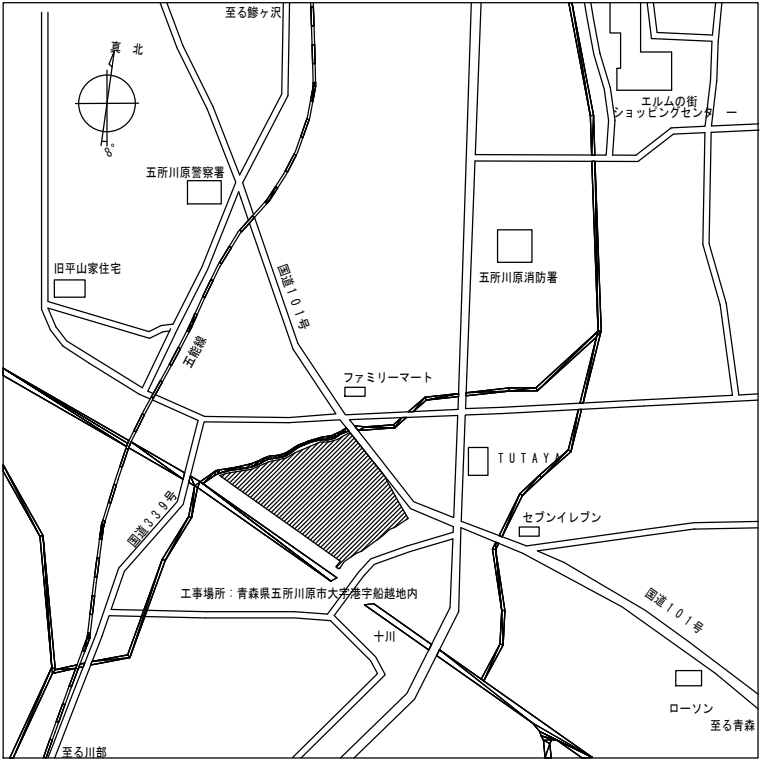
アスファルト混合物 t-50
再生砕石RC-40 t-150
調整山砂 t-150

GHP屋外機基礎 断面詳細図 1/20

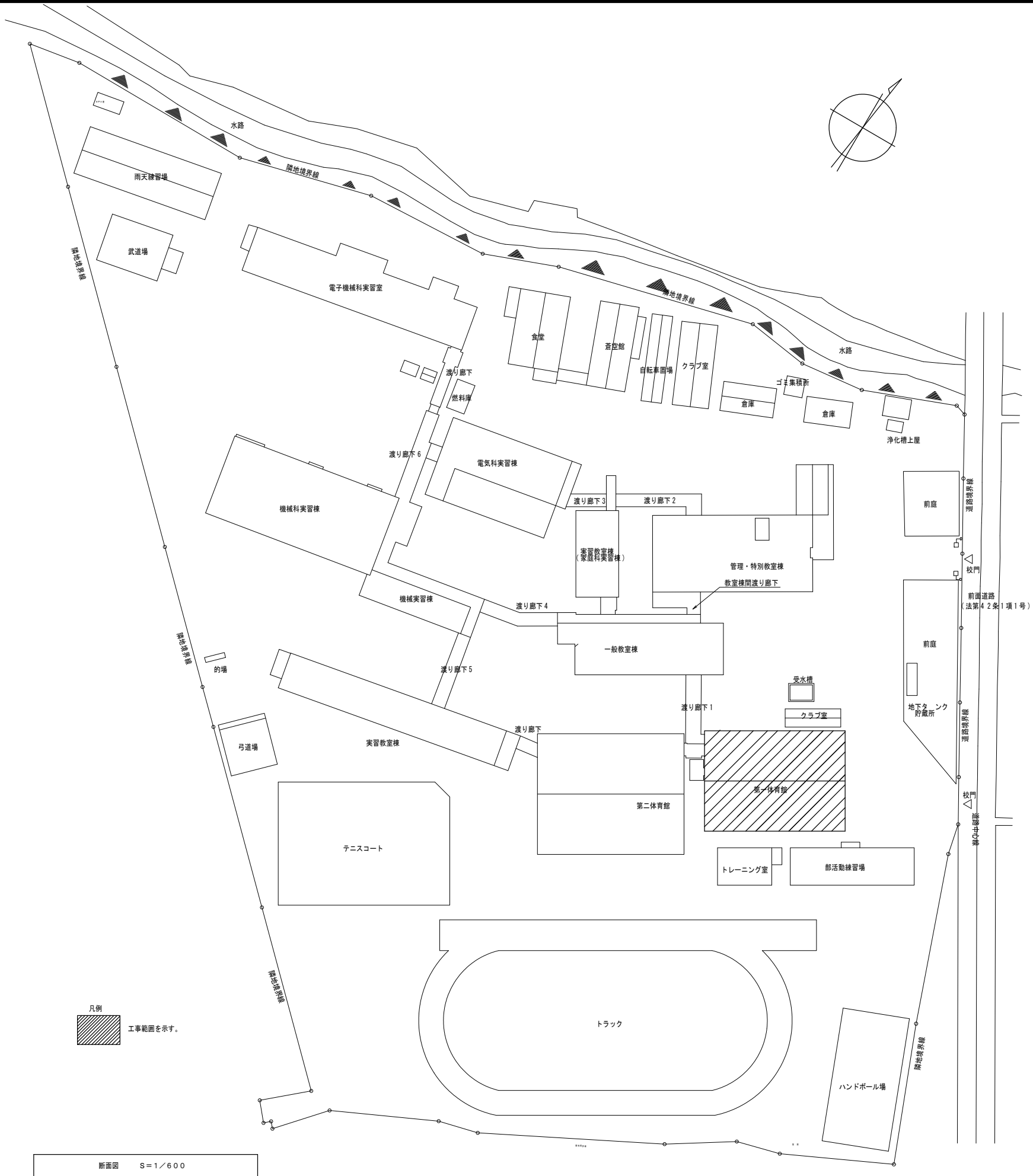
※1台毎に設置する。

工事区分表（他工事との取合い等）																															
項 目						A	E	M	EV		備 考					項 目						A	E	M	EV		備 考				
躯体関係												仕上げ関係												11. その他 （続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け 消火器ボックス設置工事 誘導標識（誘導灯を除く） 煙突底部排水目皿・排水管 くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管 くつつ洗い流し部排水金物・排水管 ルーフドレン 雨水流入配管 雨水利用設備集水管 屋上緑化 ポンプ及びポンプアップ配管	○					排煙口はM
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫 通 孔 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○		1. 軽量鉄骨 天井下地 ・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○																						
	補強を要する型枠材及び取付け	○						補強を要しないボードの切り込み		○	○																				
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○			開口部の墨出し		○	○																				
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○																										
	貫通孔・開口部の補強	○						2. 可動間仕切り	切込み及び補強	○																					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画			位置ボックス	○																					
2. S・SRC造の 梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○					3. つりボルト 及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○																				
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画																									
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画																									
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）	○					4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○																						
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）		○	○				ウエザーカバー、ベントキャップ（シール共）			○																				
	屋外・屋上の基礎	○						換気扇（取付枠共）			○																				
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの		○	○				サッシパネル開口	○																						
	機器取付け用アンカー・架台		○	○																											
	屋内受水タンク用の基礎	○						5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台	○																					
太陽電池アレイ用架台（支持金物）	○	○			AとEの区分は図示	フード（標準詳細図のもの、シール共）	○					その他はM																			
機械室・昇降路の躯体	○					ミニキッチン（照明、水栓含む）	○																								
機械室の床開口	○																														
機械室の床配管ビット・ふた	○					6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット				○																				
機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○						既製浴槽（ふたを含む）				○																				
機械室・昇降路内換気設備			○				浴室及び便所の床排水金物			○																					
巻上機周囲のチェッカープレート敷				○																											
昇降路内ビット防水・集水樹	○						7. 便所まわり	洗面カウンター	○				洗面器はM																		
点検用タラップ				○				鏡（規格寸法のみ）			○		規格外はA																		
各階出入口穴あけ・同補強	○					衛生器具ユニット				○																					
三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				○		手すり、背もたれ		○				衛生器具ユニットの 場合はM																			
昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材	○																														
出入口扉・三方枠及び幕板				○		8. 事務室まわり		ファンコイルカバー	○																						
出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨	○						家具組み込みの洗面器			○		切り込みはA																			
昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式				○																											
昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○						9. ｸﾘｰﾅﾝｸﾞﾚﾍﾞﾙ	コンセント			○																				
機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）	○							床パネルの切り込み加工	○																						
ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	○																														
点検用コンセント・煙感知器		○				10. 自動扉 電動シャッター まわり		防火戸の自動開閉装置			○																				
EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事		○						上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置	○																						
EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホン までの配管・配線工事				○	監視カメラ及び インターホン含む			排煙窓本体・自動開閉装置	○																						
監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事		○			電気設備のモニタ装置 に映像を表示する場合		防煙たれ壁本体・駆動装置	○																							
EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の 配管工事		○					上部電動シャッター・排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器	○																							
EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事	○						自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○																							
EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事				○			自動扉の手元電源スイッチ			○																					
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事			○				電気錠の本体、扉内配線	○																							
5. その他	トラフ・ビット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽	○						電気錠の扉までの配管及び配線			○																				
	同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等	○						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強 及びドアクローザー、フロアヒンジ	○																						
	雷保護設備・同接地工事		○					自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への 配管・配線工事	○																						
	ALC板の壁開口・補強	○						自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線			○																				
	厨房排水溝	○					11. その他	2重ビット及びトレンチのマンホールふた	○																						
	厨房グリース阻集器			○				機器搬入用フック、ビーム	○				EV用フック含む																		
	オイルサービスタンの防油堤	○						チェーンブロック			○	○																			
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○						化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○																						
既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○			点検口（天井・床下）		○																							
凡 例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。					この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった 施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付 しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的 工事内容を示すものではないことに留意すること。					（設計者等表示欄） ※ ※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する																				

NOTE		工事名称 五所川原工科高等学校第一体育館避難所 機能強化（空調設備）工事	縮尺（A1判）～（A3判）						単位		MM		令和8年6月		作製		図面名称 電気設備特記仕様書（2）	
			所 長		部 長		課 長		担 当		製 図		製 図		E — 02		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正	
			青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877						山田							



案内図



NOTE

工事名称 五所川原工科高等学校第一体育館避難所
機能強化（空調設備）工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 1/600 (A1判) 1/1200 (A3判) 単位 MM

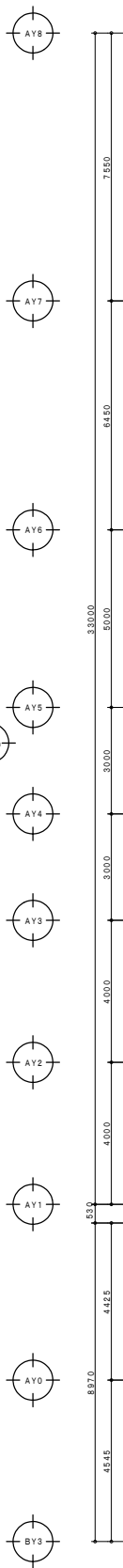
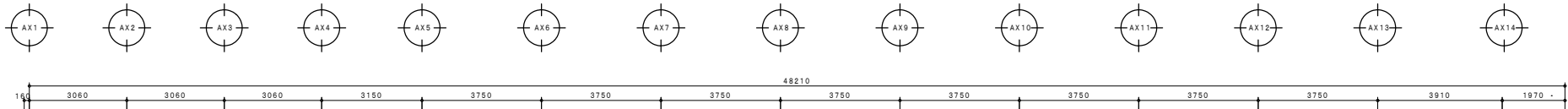
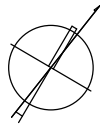
所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図

令和8 年 6 月 作製

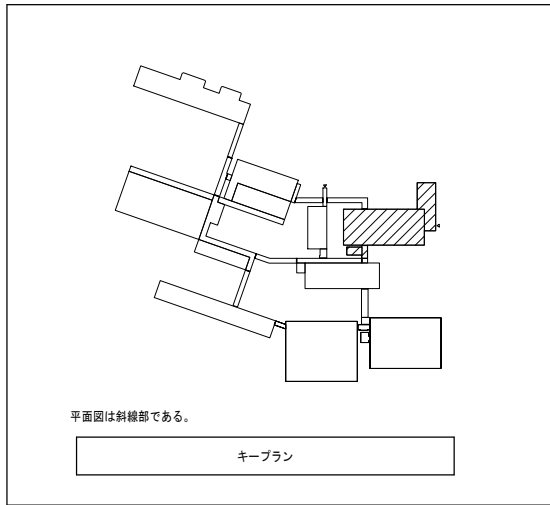
E ー 03

図面名称 配置図・案内図

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



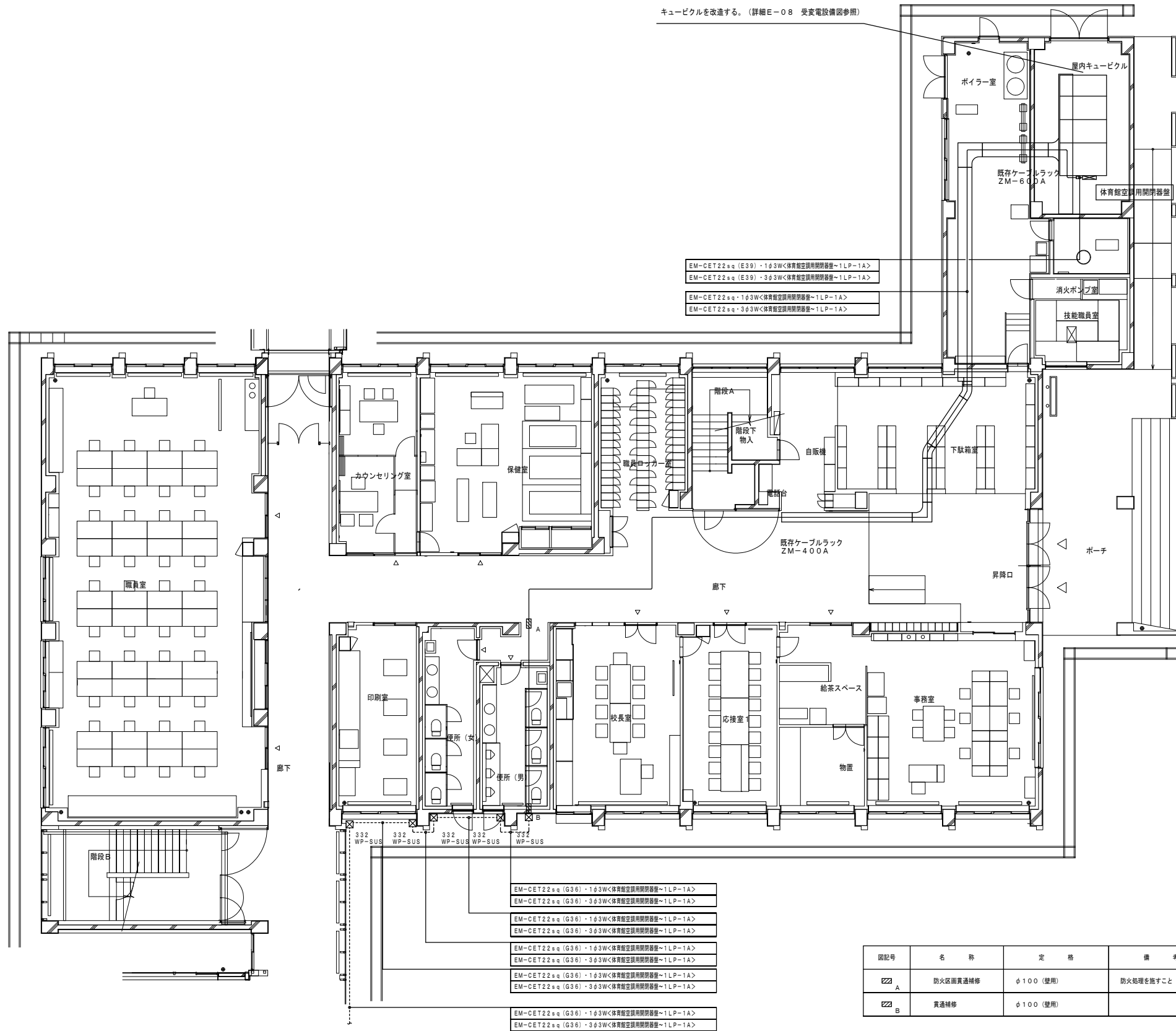
ブルボックス寸法は下記による。
☒mmn : (m×100) W× (m×100) W× (n×100) H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。



平面図は斜線部である。

ケーブルラン

管理棟 1階 電気設備図 S=1/100



以降 E-05 普通教室棟1階電気設備図参照

図記号	名 称	定 格	備 考
☒ _A	防火区画貫通補修	φ100 (管用)	防火処理を施すこと
☒ _B	貫通補修	φ100 (管用)	

NOTE

工事名称 五所川原工科高等学校第一体育館避難所
機能強化 (空調設備) 工事

縮尺 1/100 (A1用) 1/200 (A3用)

単位 MM

令和8 年 6 月 作製

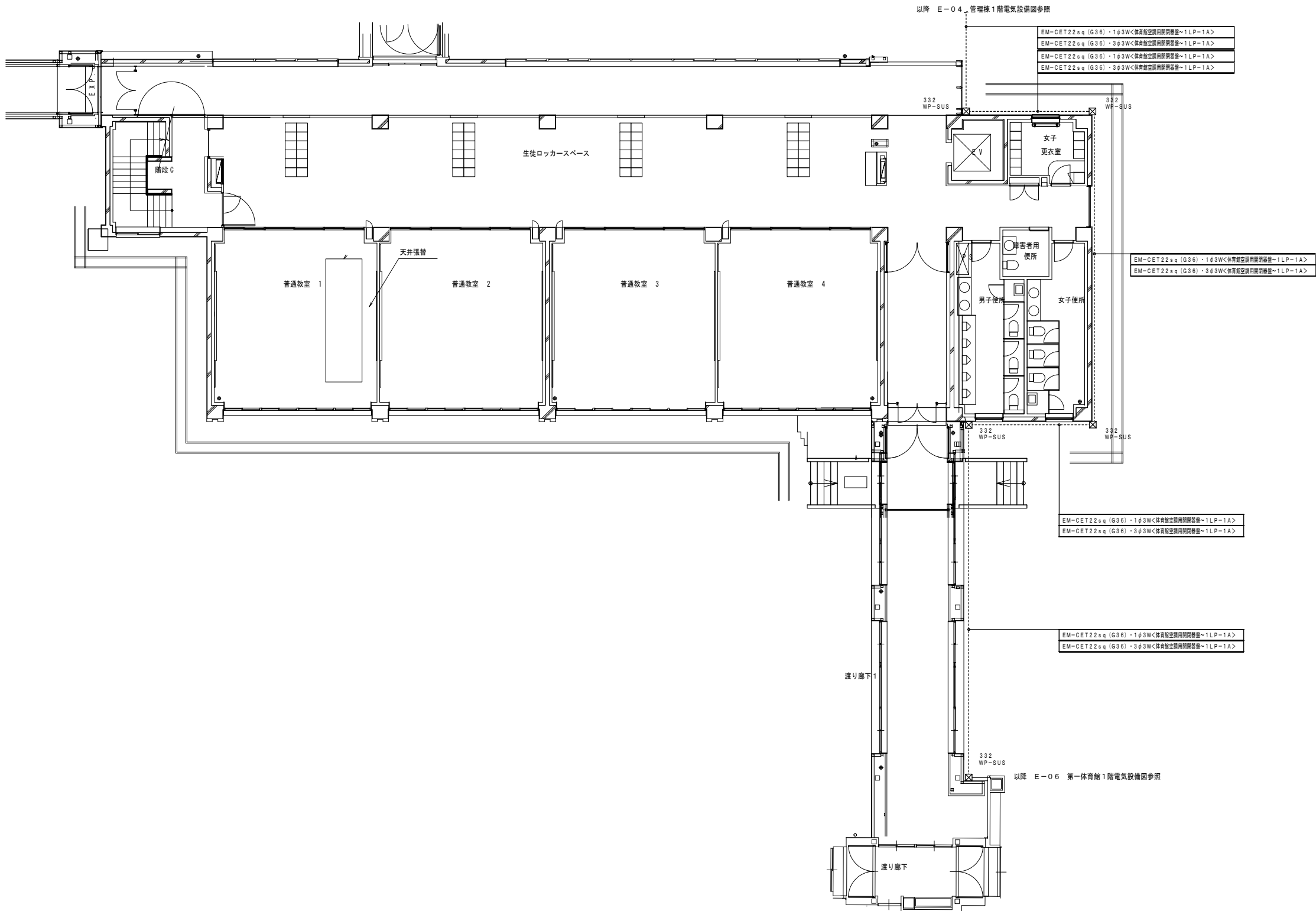
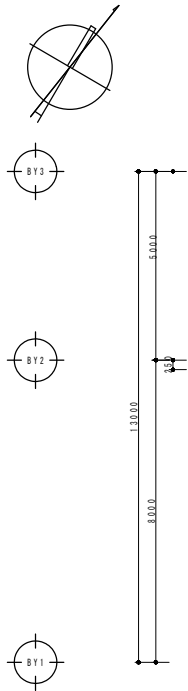
図面名称 管理棟 1階電灯・動力設備図

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

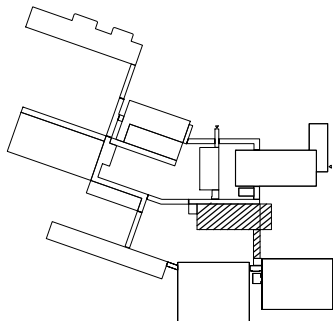
山田

E 04

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



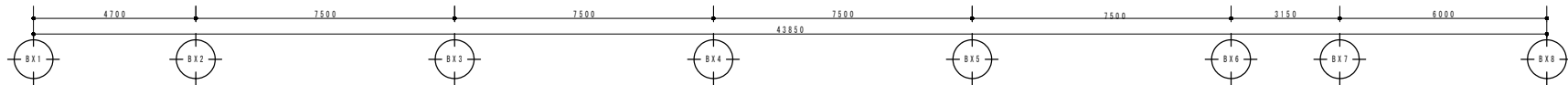
ブルボックス寸法は下記による。
☒mmn : (m×100) W× (m×100) W× (n×100) H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。



平面図は斜線部である。

キープラン

普通教室棟 1 階 電気設備図 S=1/100



NOTE

工事名称 五所川原工科高等学校第一体育館避難所
機能強化（空調設備）工事
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

縮尺	1/100 (A1判)	1/200 (A3判)	単位	MM							
所	長	部	長	課	長	担	当	製	図	製	図
						山田					

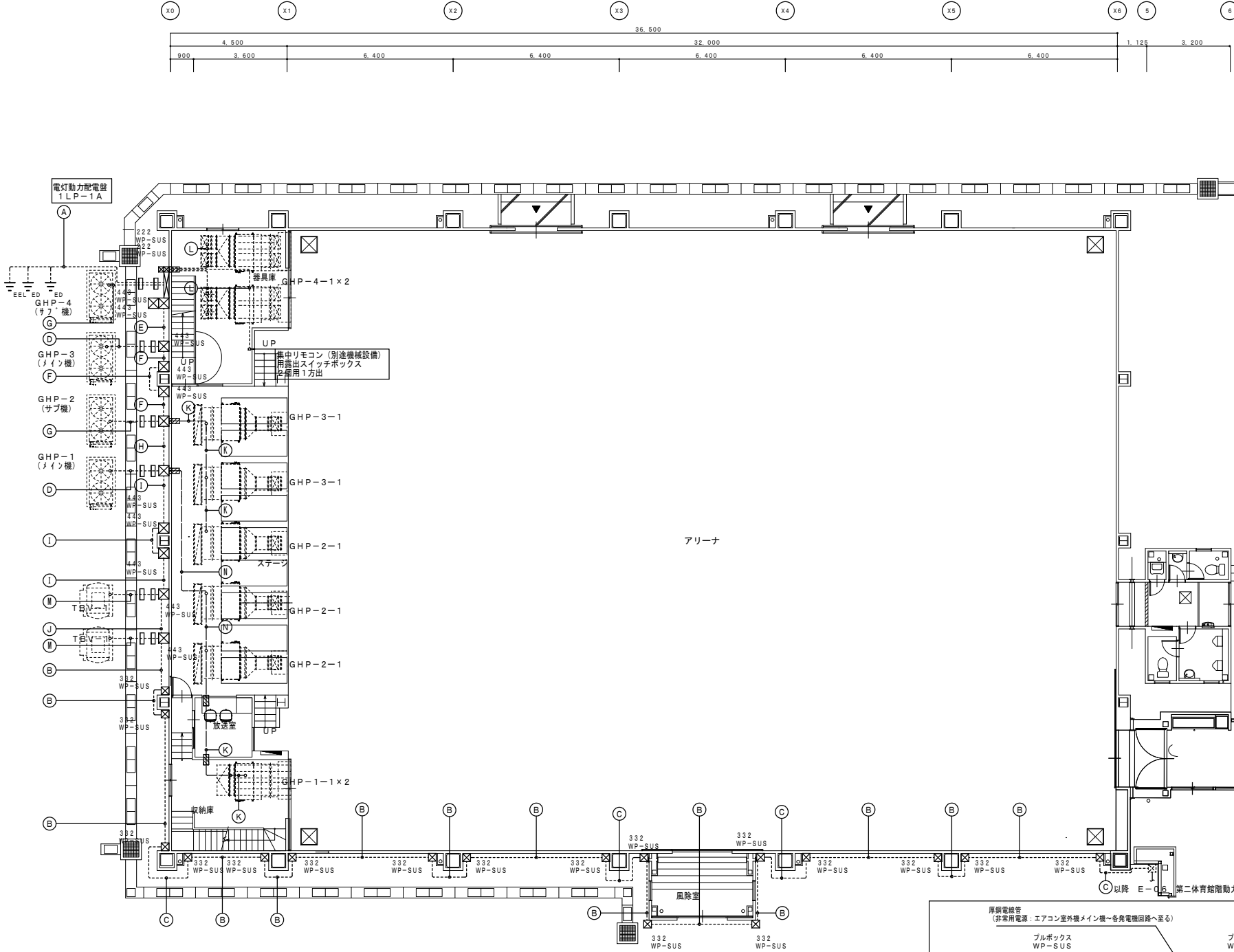
令和8 年 6 月 作製
E ー 05

図面名称 普通教室棟 1 階電灯・動力設備図
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

設備機器表		
GHP-1~4	3φ200V1.3kW (別途機械設備工事)	
GHP-1-1~4	1φ200V350VA (別途機械設備工事)	
TBV-1	1φ100V150VA (別途機械設備工事)	

図記号	名 称	定 格	備 考
ZZ	貫通補修	φ100 (壁用)	

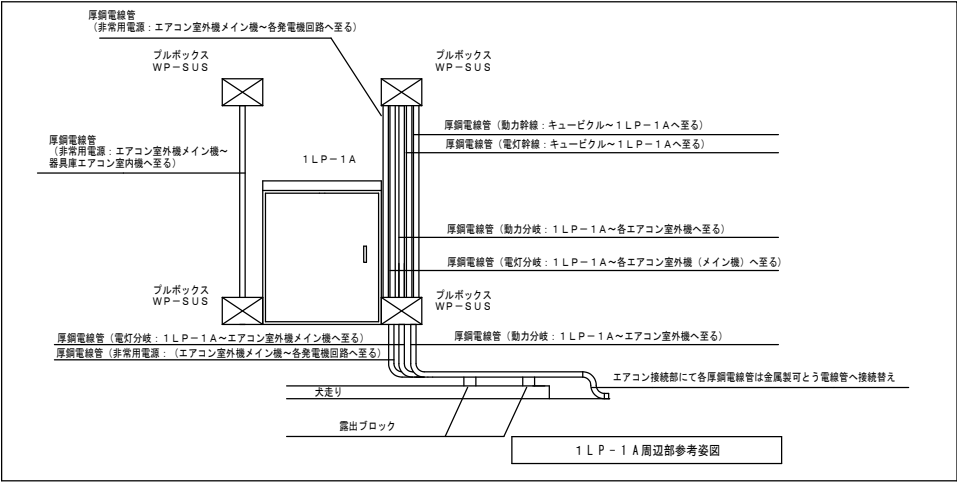
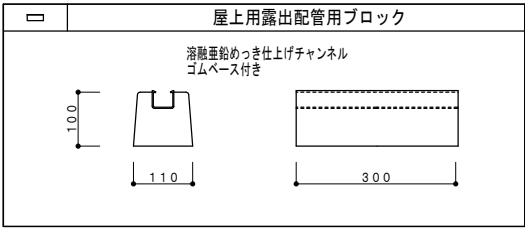
A	E5.5sq	<EEL>高電圧新着用地
	E5.5sq (V22)	<ED> 屋根接地
	E5.5sq	<ED> 赤土接地
B	EM-CET22sq (G36)	・1φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
	EM-CET22sq (G36)	・3φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
C	EM-CET22sq (F2.38WP)	・1φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
	EM-CET22sq (F2.38WP)	・3φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
D	EM-CE5.5sq-4C (G22)	・1φ3W<1LP-1A～GHP-メイン機>
	EM-CE5.5sq-4C (G22)	・3φ3W<1LP-1A～GHP-メイン・サブ機>
E	EM-EEF2.0-3C×3 (G28)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-CE5.5sq-4C×2 (G28)	・1φ3W<1LP-1A～GHP-メイン機>
F	EM-CE5.5sq-4C×2 (G28)	・3φ3W<1LP-1A～GHP-メイン・サブ機>
	EM-EEF2.0-3C×2 (G28)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
G	EM-CET22sq (G36)	・1φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
	EM-CET22sq (G36)	・3φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
H	EM-CE5.5sq-4C (G22)	・1φ3W<1LP-1A～GHP-メイン機>
	EM-CE5.5sq-4C (G22)	・3φ3W<1LP-1A～GHP-メイン・サブ機>
I	EM-EEF2.0-3C×2 (G28)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-CET22sq (G36)	・1φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
J	EM-EEF2.0-3C (G22)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-CET22sq (G36)	・1φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
K	EM-EEF2.0-3C (PF22)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-CET22sq (G36)	・3φ3W<体育館空調用開閉器～1LP-1A>
L	EM-EEF2.0-3C (E25)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-EEF2.0-3C (G22)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
M	EM-EEF2.0-3C (G22)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-EEF2.0-3C×2 (PF28)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
N	EM-EEF2.0-3C×2 (PF28)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>
	EM-EEF2.0-3C×2 (PF28)	・1φ2W<GHP-メイン機～各分機>



ブルボックス寸法は下記による。
mmn : (m×100) W× (m×100) W× (n×100) H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠べい部に取り付ける。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。

電線管とエアコン室外機の接続部は金属製可とう電線管に接続替えること。

第一体育館 電気設備図 S=1/100



平面図は斜線部である。

キープラン

NOTE

工事名称

五所川原工科高等学校第一体育館避難所
機能強化 (空調設備) 工事

縮尺 1/100 (A1判) 1/200 (A3判)

単位 MM

令和8年6月 作製

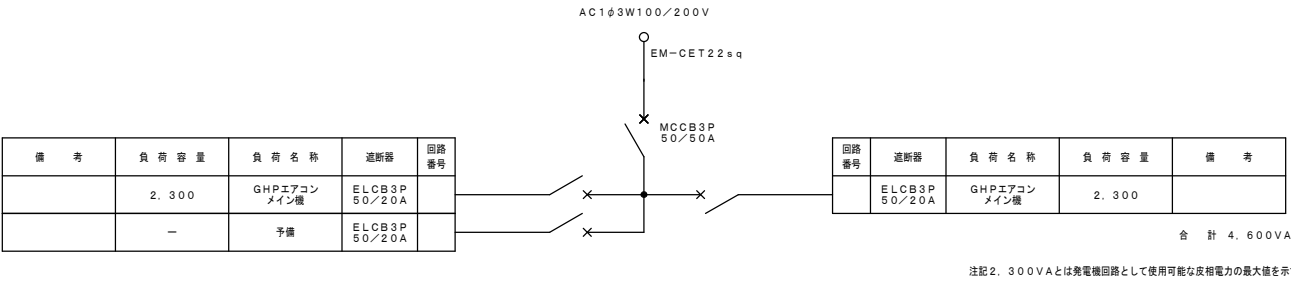
図面名称 第一体育館電灯・動力設備図

所長 部長 課長 担当 製図 製図

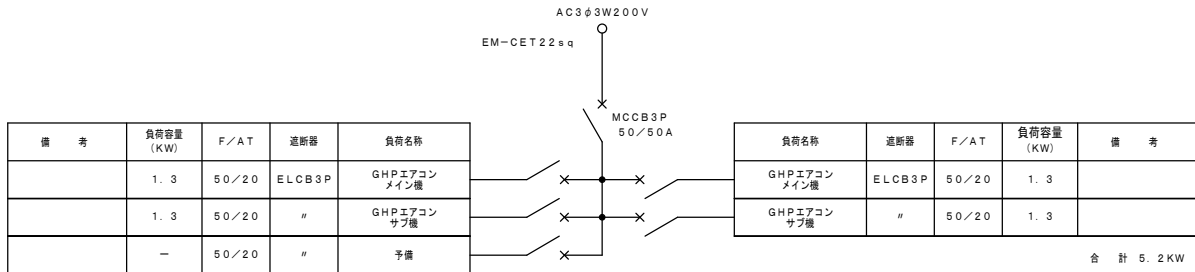
山田

E 06

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

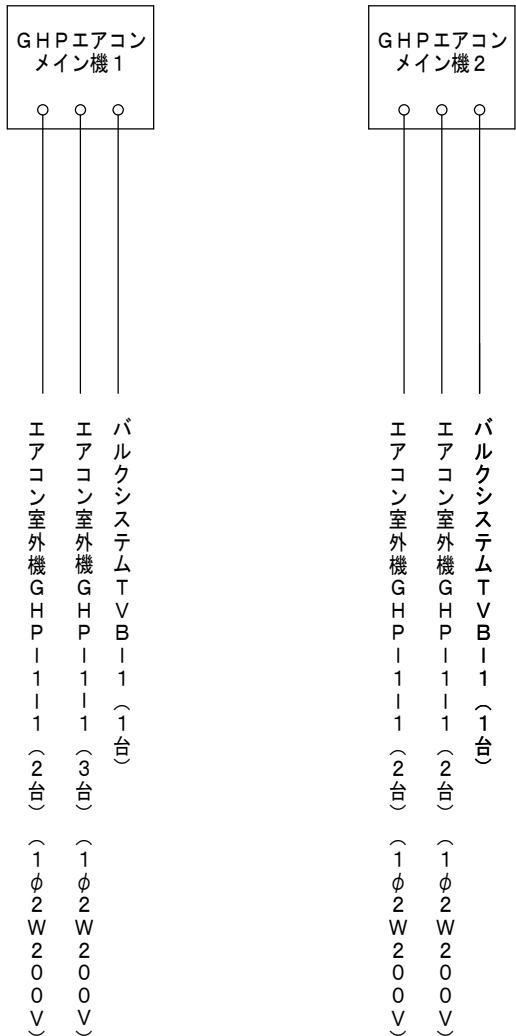


セパレータ



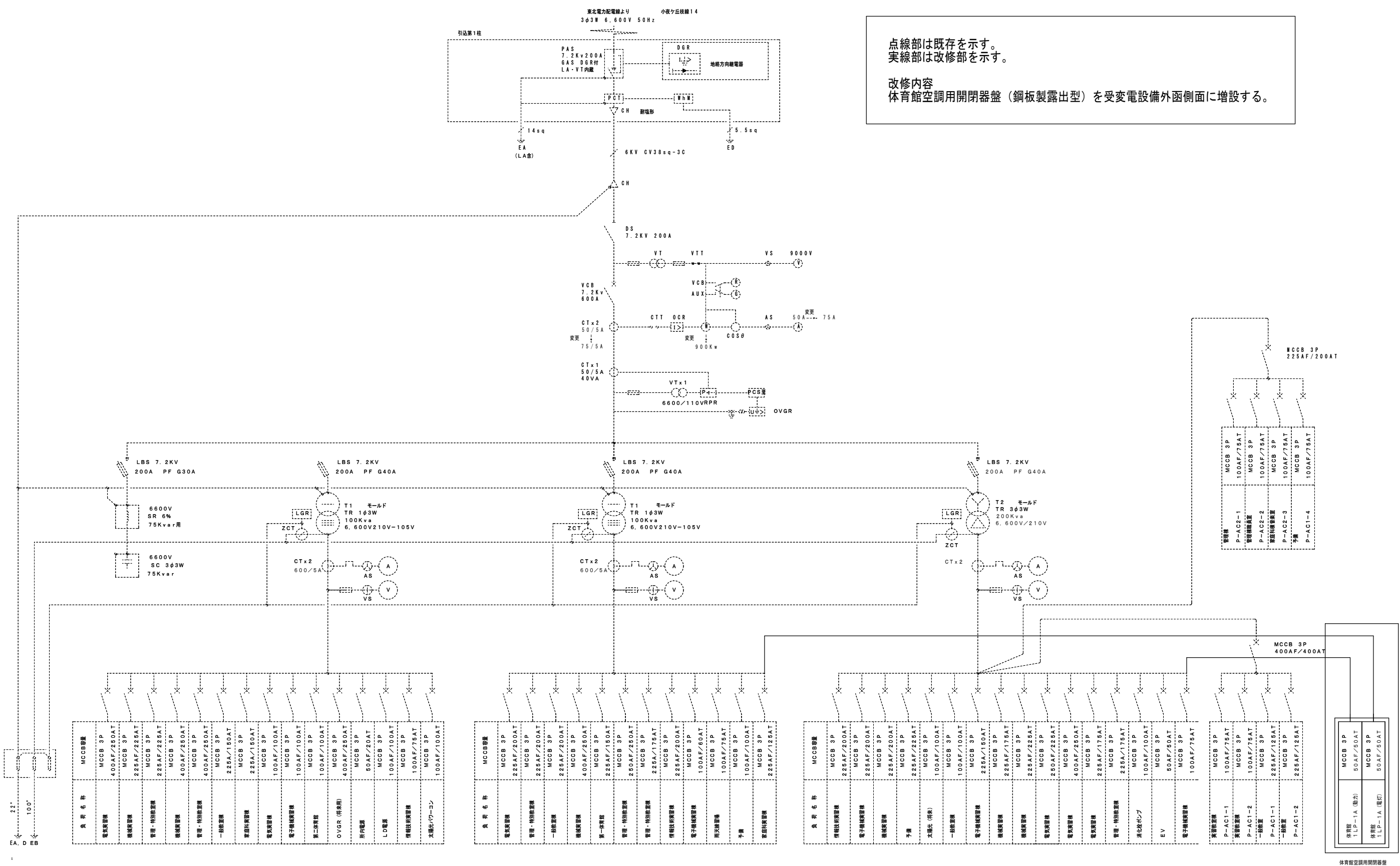
電灯動力配電盤1LP-1A 単線結線図

ステンレス製
露出型



GHPエアコンメイン機端子台より給電

GHPメイン機2次側回路系統図



点線部は既存を示す。
実線部は改修部を示す。

改修内容
体育館空調用開閉器盤（銅板製露出型）を受変電設備外函側面に増設する。

負荷名称	MCCB容量
電気設備盤	MCCB 3P 400AF/250AT
機械設備盤	MCCB 3P 225AF/225AT
管理・特別設備盤	MCCB 3P 225AF/225AT
機械設備盤	MCCB 3P 400AF/250AT
管理・特別設備盤	MCCB 3P 400AF/250AT
一般設備盤	MCCB 3P 225A/150AT
家庭科実習盤	MCCB 3P 225A/150AT
電気設備盤	MCCB 3P 100AF/100AT
電子機械設備盤	MCCB 3P 100AF/100AT
第二体育館	MCCB 3P 100AF/100AT
OVGR (待機用)	MCCB 3P 400AF/250AT
所内電源	MCCB 3P 50AF/20AT
LD電源	MCCB 3P 100AF/100AT
情報技術実習盤	MCCB 3P 100AF/75AT
太陽エネルギーコン	MCCB 3P 100AF/100AT

負荷名称	MCCB容量
電気設備盤	MCCB 3P 225AF/200AT
管理・特別設備盤	MCCB 3P 225AF/200AT
一般設備盤	MCCB 3P 225AF/200AT
機械設備盤	MCCB 3P 400AF/250AT
第一体育館	MCCB 3P 225AF/150AT
管理・特別設備盤	MCCB 3P 250AF/250AT
管理・特別設備盤	MCCB 3P 225A/175AT
情報技術実習盤	MCCB 3P 225AF/200AT
電子機械設備盤	MCCB 3P 100AF/60AT
用交設備盤	MCCB 3P 100AF/75AT
予備	MCCB 3P 100AF/100AT
家庭科実習盤	MCCB 3P 225AF/125AT

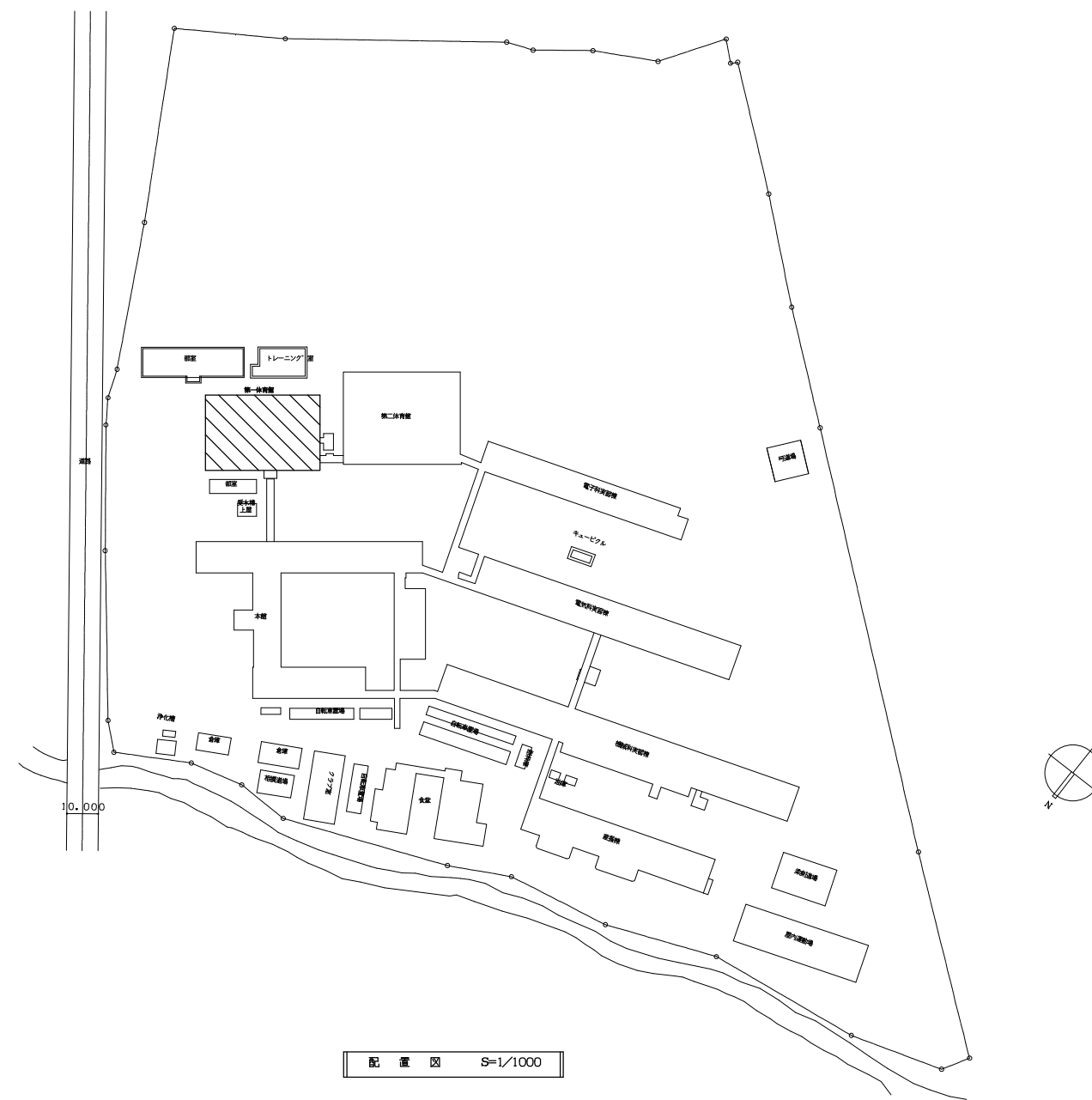
負荷名称	MCCB容量
情報技術実習盤	MCCB 3P 225AF/200AT
電子機械設備盤	MCCB 3P 225AF/200AT
機械設備盤	MCCB 3P 225AF/225AT
予備	MCCB 3P 225AF/225AT
太陽エネルギーコン	MCCB 3P 100AF/100AT
一般設備盤	MCCB 3P 100AF/100AT
電子機械設備盤	MCCB 3P 225A/150AT
機械設備盤	MCCB 3P 225AF/175AT
機械設備盤	MCCB 3P 225AF/225AT
電気設備盤	MCCB 3P 250AF/225AT
電気設備盤	MCCB 3P 400AF/250AT
電気設備盤	MCCB 3P 225AF/175AT
管理・特別設備盤	MCCB 3P 225A/175AT
消化器ポンプ	MCCB 3P 100AF/100AT
EV	MCCB 3P 50AF/50AT
電子機械設備盤	MCCB 3P 100AF/75AT

負荷名称	MCCB容量
電気設備盤	MCCB 3P 100AF/75AT
P-AC1-1	MCCB 3P 100AF/75AT
P-AC1-2	MCCB 3P 100AF/75AT
一般設備	MCCB 3P 225AF/125AT
P-AC1-1	MCCB 3P 225AF/125AT
一般設備	MCCB 3P 225AF/125AT
P-AC1-2	MCCB 3P 225AF/125AT

負荷名称	MCCB容量
体育館空調用開閉器盤	MCCB 3P 50AF/50AT
体育館空調用開閉器盤	MCCB 3P 50AF/50AT

[illegible]

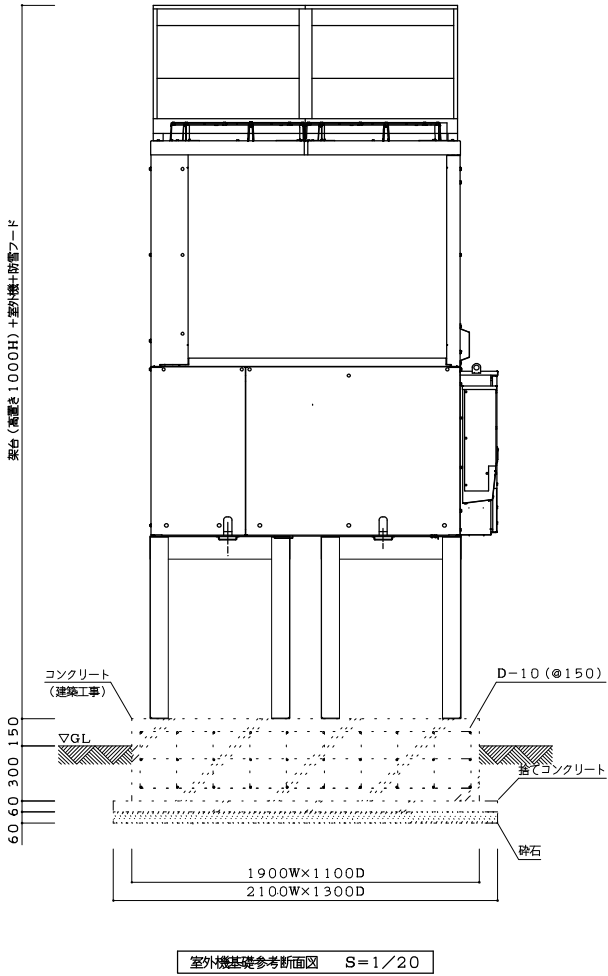
[illegible]

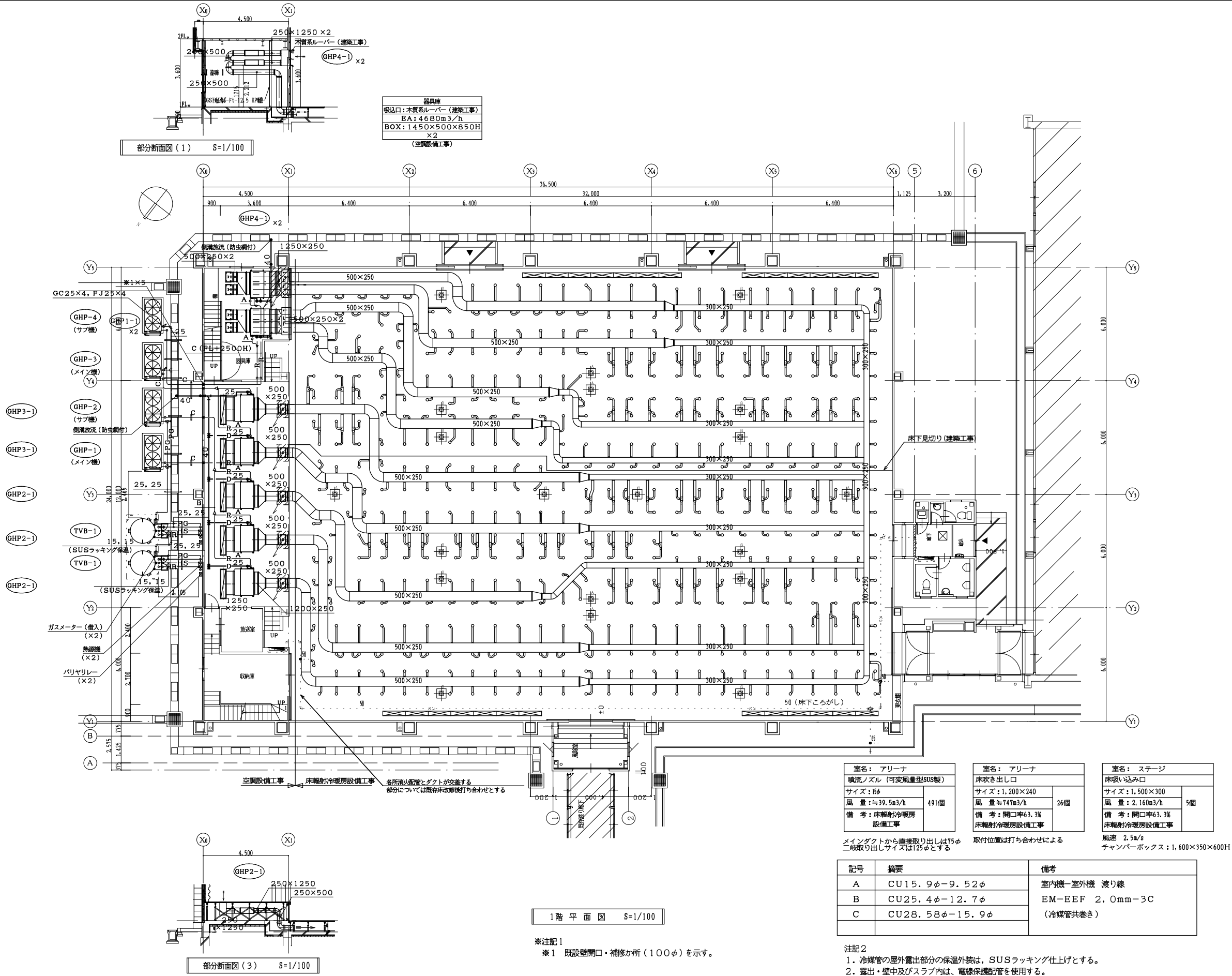


NOTE	五所川原工科大学第一体育館 遊樂所機能強化(空調設備整備)改修工事	縮尺 A1:1/1000 A3:1/2000	単位	MM	令和8年 6月 作製	図面名称	案内図・配置図
		所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				山田	高橋	
		M - 3				管理建築士 1級建設士登録119986号	川島芳正

空調機器表

記号	機器名称	形式	仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所	基礎	備考
				φ	V	kW (W)				
GHP-1 (メイン機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 42 kW (自立発電時: 44 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上 自立運転切り替え盤、自立運転切り替えスイッチ	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 本工事	防雪フード (吹き出し側) 平地架台1000H
GHP-1 - 1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m ³ /h×200Pa (機外静圧) ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートサーモ (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	2	収納庫		
GHP-2 (サブ機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 42 kW (自立発電時: 44 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 本工事	防雪フード (吹き出し側) 平地架台1000H
GHP-2 - 1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m ³ /h×200Pa (機外静圧) ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートサーモ (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	3	ステージ下		
GHP-3 (メイン機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 42 kW (自立発電時: 44 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上 自立運転切り替えスイッチ	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 本工事	防雪フード (吹き出し側) 平地架台1000H
GHP-3 - 1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m ³ /h×200Pa (機外静圧) ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートサーモ (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	2	ステージ下		
GHP-4 (サブ機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 42 kW (自立発電時: 44 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 本工事	防雪フード (吹き出し側) 平地架台1000H
GHP-4 - 1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m ³ /h×200Pa (機外静圧) ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートサーモ (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	2	器具庫		
CRS-1	集中リモコン		タッチパネル式 ON/OFF集中コントローラー 一括運転・一括停止機能付	1	100	0.07	1	器具庫		
TVB-1	バルクシステム		縦型/バルクタンク 容量: LPG980kg 温水循環式蒸発器: 30kg/h 熱源機能力: 12.1 kW 付属品: 弁開閉札、ガス用給湯器 (熱源機) 他一式	1	100	0.15	2	屋外	基礎: 建築工事	





室名：アリーナ 噴流ノズル（可変風量型SUS製） サイズ：15φ 風量：与39.5m3/h 備考：床輻射冷暖房 設備工事	室名：アリーナ 床吹き出し口 サイズ：1,200×240 風量：与74m3/h 備考：開口率63.3% 床輻射冷暖房設備工事	室名：ステージ 床吸い込み口 サイズ：1,500×300 風量：与2,160m3/h 備考：開口率63.3% 床輻射冷暖房設備工事 風速 2.5m/s チャンバーボックス：1,600×350×600H
---	---	---

記号	摘要	備考
A	CU15.9φ-9.52φ	室内機-室外機 渡り線
B	CU25.4φ-12.7φ	EM-BEF 2.0mm-3C
C	CU28.58φ-15.9φ	(冷媒管共巻き)

注記2
1. 冷媒管の屋外露出部分の保温外装は、SUSラッキング仕上とする。
2. 露出・壁中及びスラブ内は、電線保護配管を使用する。
3. 電線サイズ及び冷媒管サイズは、参考値とする。

※注記1
※1 既設壁開口・補修か所（100φ）を示す。

1. 設計条件

・本設備エリアの温度条件は下記表を参照する

	外 気		室 内	
	DB℃	RH%	DB℃	RH%
夏季	31.8℃	60.8%	28.0℃	50%
冬季	-5.4℃	74.7%	18.0℃	40%

2. 工事条件

- ・二重床内のダクト工事及び噴流ノズル取り付け工事は、本体工事とする。
- ・矩形ダクトの接続は、差し込み式とする
- ・フレキシブルダクトは不燃認定品を使用する。
- ・輻射範囲の二重床下ダクトは保温を行わない。
- ・室内環境測定として次の項目を測定する。（床輻射冷暖房設備工事）
室内温度・室内湿度・風速・輻射温度・床表面温度

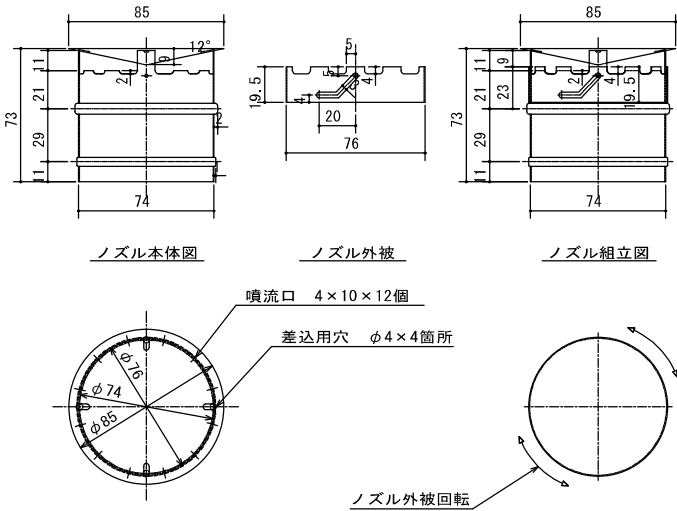
3. 工事区分表

	工 事 項 目	建築工事	空調設備工事		備 考
			床輻射冷暖房設備工事	空調設備工事	
1	空調ダクト工事		○	○	*1
2	噴流ノズル取り付け工事（材料・工事共）		○		
3	床下断熱工事（材料・工事共）	○			
4	立ち上がり部分断熱工事（材料・工事共）	○			
5	吹き出し口・床吸い込み口取付工事		○		*2
6	床工事	○			
7	床仕上げ工事	○			
8	室内環境測定（夏期・冬期）		○		

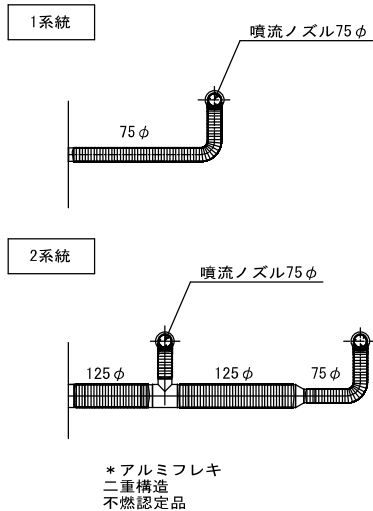
*1 床輻射冷暖房工事と空調設備工の取り合いは打ち合わせによる
*2 開口 補強は建築工事

噴流ノズル仕様

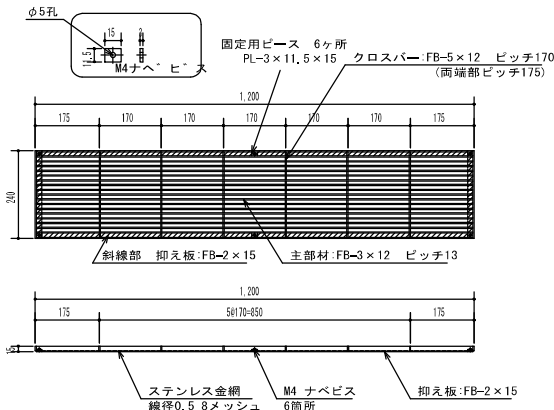
材 質	SUS304
板 厚	0.4t
仕 様	75φ



フレキダクトサイズ表



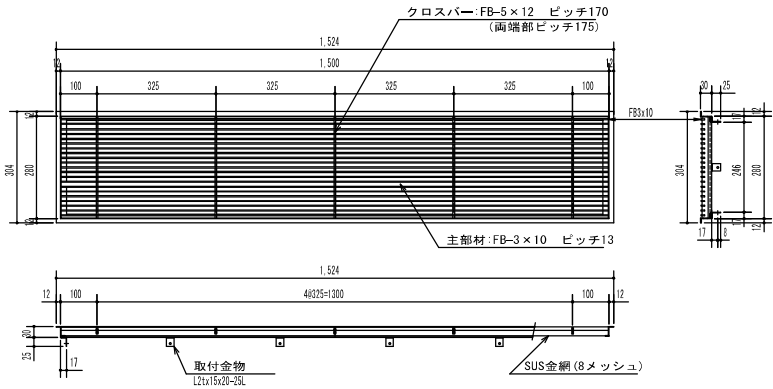
床吹き出し口



器具公称寸法	L	W	板厚	材質	面仕上	床開口寸法	取付用ビス
1200×240	1200	240	3.0	SUS304	HL	1170×210	φ

金網(8メッシュ/SUS304)
有効開口率 63.3%

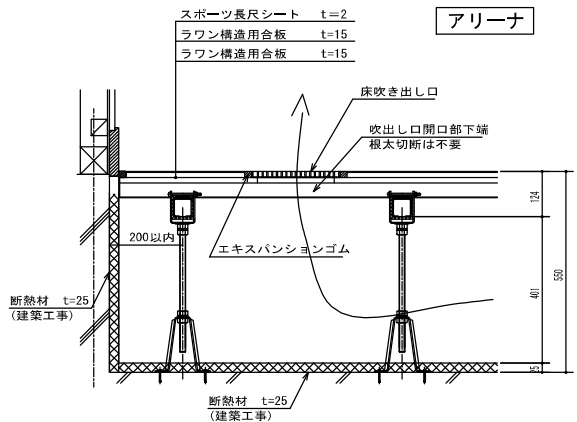
床吸い込み口



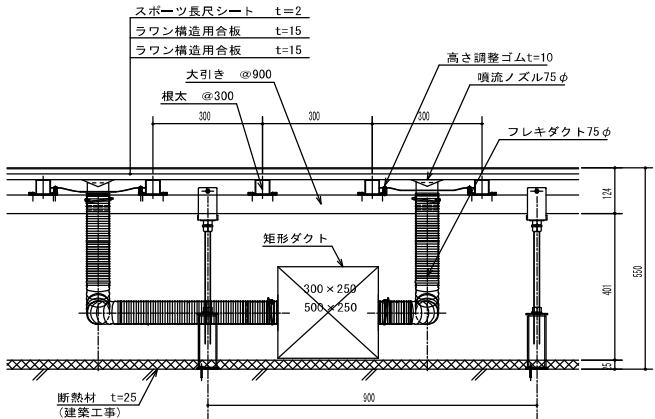
器具公称寸法	L	W	板厚	材質	面仕上	床開口寸法
1500×300	1524	304	3.0	SUS304	HL	1506×286

金網(8メッシュ/SUS304)
有効開口率 63.3%

床吹き出し口取付詳細図



床断面図



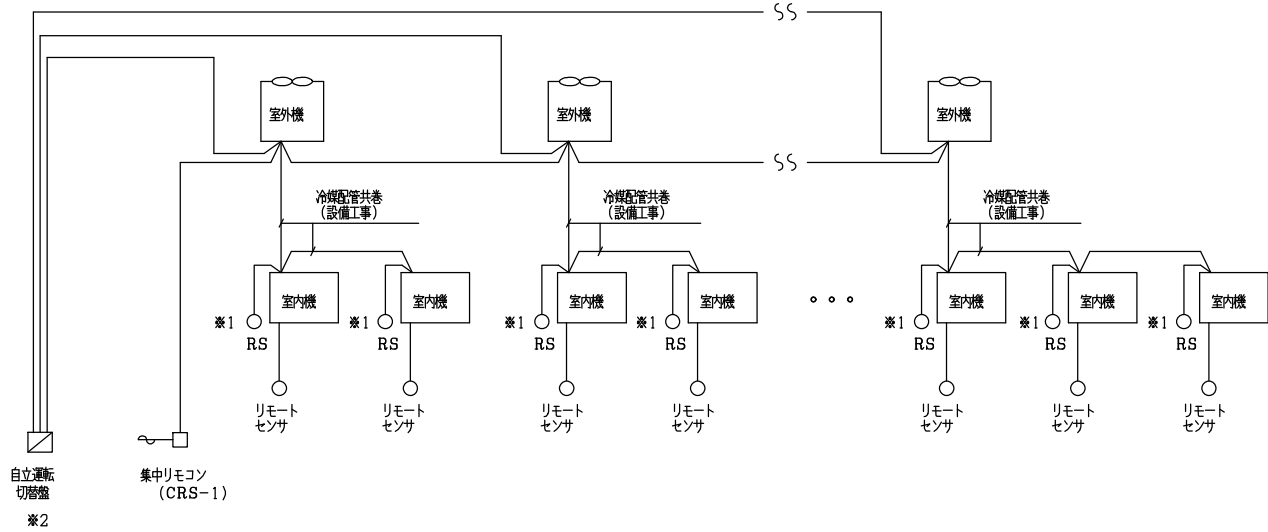
NOTE

工事名称 五所川原工科大学第一体育館
避難所機能強化(空調設備整備)改修工事
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 A1:1/10 A3:1/20
単位 MM
所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図
山田 高橋

令和8年 6 月 作製
M - 6

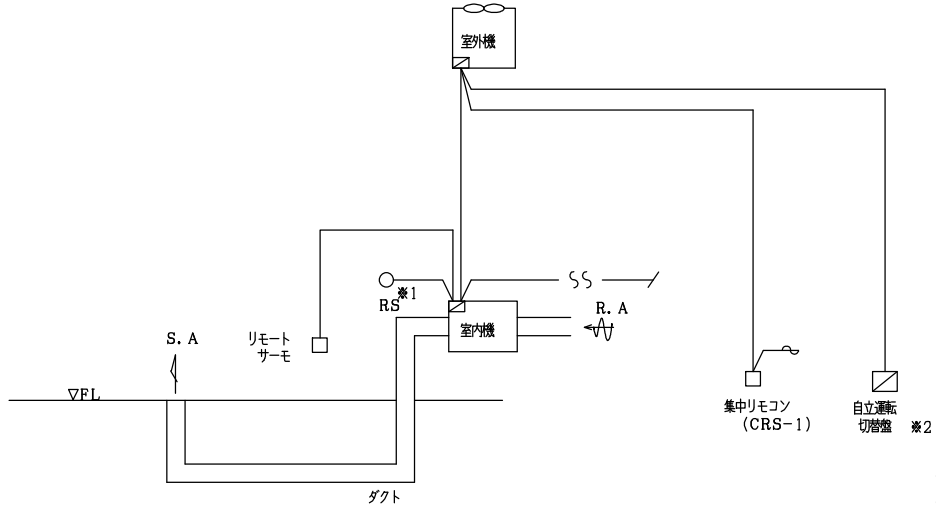
図面名称 空調設備 詳細図
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



※1 Box+リモコン
※2 自動運転切替スイッチは室外機マスター機1台、サブ機1台をセットとする。

機器リスト

室内機記号	室 名	台数	R.S	リモセンサ	自動運転スイッチ	室外機	備考
GHP-1-1	収納庫	2	2	2		マスター機	GHP-1 天井
GHP-2-1	ステージ下	3	3	3	1	サブ機	GHP-2 床置
GHP-3-1	ステージ下	2	2	2	1	マスター機	GHP-3 床置
GHP-4-1	器具庫	2	2	2		サブ機	GHP-4 天井



※1 Box+リモコン
※2 自動運転切替スイッチは室外機マスター機1台、サブ機1台をセットとする。

自動制御機器表

記 号	名 称	参考型式	備 考
RS	リモコンスイッチ	HLPARF3A	GHP付属品
CRS-1	集中コントローラ	HLA32MN1	GHP付属品
-	自動運転スイッチ (壁掛タイプ)	AOB560L	自動運転切替盤内
-	リモートセンサ	THM-R2A	GHP付属品

盤参考寸法

制 御 盤	形 状	寸 法			備 考
		W	H	D	
GHP自動運転切替盤	壁掛	400	700	160	GHP付属品
集中リモコン盤	壁掛	300	500	160	GHP付属品

<制御内容>

1. 集中制御：集中リモコンにより集中監視制御
2. リモコンスイッチ (RS) は、本体又は本体付近のBOX内へ収納し、緊急時 個別対応可とする。
3. 自動運転切替盤により、災害時・停電時に自動運転へ切替し冷暖房を可とする。非常用電源を確保する。(GHP仕様による)
4. 自動運転切替盤に運転・故障・故障信号を表示させる。
5. リモートセンサはGHP仕様により室内機と対する。

NOTE

工事名称

五所川原工科大学第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事

縮尺

-

単位

MM

令和8 年 6 月 作製

図面名称 自動制御設備 計装図

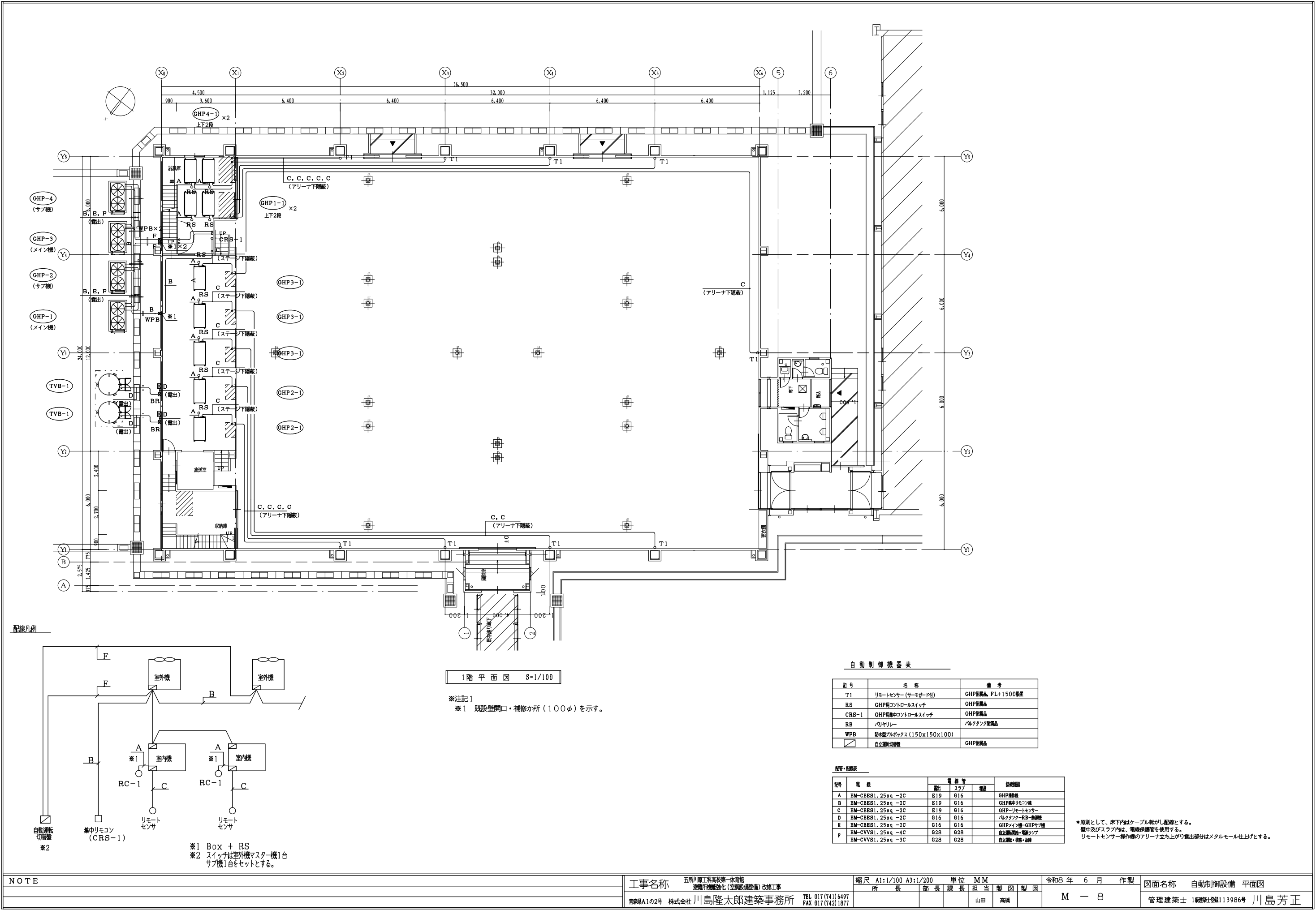
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TBL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図

M - 7

管理 建 築 士 1級建築士登録113986号 川島芳正



配線凡例

1階平面図 S=1/100

※注記1
※1 既設壁開口・補修か所（100φ）を示す。

自動制御機器表

記号	名 称	備 考
T1	リモートセンサー（サーモガード付）	GHP製風品、FL+1500設置
RS	GHP用コントロールスイッチ	GHP製風品
CRS-1	GHP用集中コントロールスイッチ	GHP製風品
RB	パルゼリレー	パルゼタング製風品
WPB	防水型プルボックス（150x150x100）	
☒	自立運転切替機	GHP製風品

配管・配線表

記号	電 線	電 線 管			接続機器
		配出	スラブ	埋 設	
A	EM-CBES1. 25sq -2C	B19	G16		GHP用風機
B	EM-CBES1. 25sq -2C	B19	G16		GHP用集中リモコン機
C	EM-CBES1. 25sq -2C	B19	G16		GHP-リモートセンサー
D	EM-CBES1. 25sq -2C	G16	G16		パルゼタング-RB-制御機
E	EM-CBES1. 25sq -2C	G16	G16		GHPメイン機-GHPサブ機
F	EM-CVVS1. 25sq -4C	G28	G28		自立運転切替機・電源ランプ
	EM-CVVS1. 25sq -3C	G28	G28		自立運転切替機・故障

※原則として、床下内はケーブル転がし配線とする。
壁中及びスラブ内は、電線保護管を使用する。
リモートセンサー・操作線のアリーナ立ち上がり配線部分はメタルモール仕上とする。